

市長と地域の井戸端会議

—事業報告—



令和2年3月

下松市・下松市自治会連合会

— 目 次 —

● 開催要項	2
● 全会場の開催状況	4
● 各会場のグループワークを通じて共有されたキーワード	5
● 「井戸端会議」の概要	
➤ 下松西地区・南地区・旗岡地区	12
➤ 下松中央地区・北地区	15
➤ 久保地区	19
➤ 東陽・切山地区	22
➤ 花岡地区	27
➤ 末武地区	32
➤ 米川地区	37
➤ 中村地区	42
➤ 江の浦地区	44
➤ 本浦地区	47
➤ 深浦地区	49
➤ 豊井地区	52
● 「井戸端会議」で協議された地域課題に対する 地区自治会連合会との協議	56
● 「井戸端会議」における 市内全域にわたる課題の整理について	60
● 「市長と地域の井戸端会議」を生かした今後の目標設定	64

● 「市長と地域の井戸端会議」開催要項

■ 企画意図

前回は市長の就任後間もなく「出張座談会」として、行政の施策の説明、質疑応答といった対面形式による座談会を行った。

今回は、市政報告を行った後、地域の実情に応じたテーマを設定し、参加者それぞれが意見を出し、話し合いを進める直接対話型形式とし、地域づくりに係る建設的な意見を賜る場をつくる。これによって、「地域から発展的な提案」を引き出す機会とする。また、地域住民同士の話し合いを進めていく上で、地域コミュニティ団体の中核である地区自治会連合会と行政との協働によって進める。

■ 開催趣旨

市長が地域に直接赴き、グループトークを通して、地域住民と意見を交わし、地域住民の声を積極的に聴取して、施策に反映するための機会とする。また、住民間の意見交換を通じて、地域が抱える課題を共有する場とし、地域力の向上を図るきっかけづくりにすることを目的とする。

■ 協力：下松市自治会連合会（市内地区自治会連合会）

■ 開催日時：令和元年 10 月中旬～11 月中旬の平日（19 時～/18 時 30 分～）

■ 開催会場：市内 12 か所

■ 市からの出席者：市長・副市長・総務部長・企画財政部長・秘書広報課

■ メインテーマ：地域の安全安心／人を引き付ける魅力ある地域づくり

■ グループトークの進め方

- ◇ 開会のことば
- ◇ 市長あいさつ（市政報告）
- ◇ グループトークの趣旨説明
- ◇ テーマによるグループワーク
- ◇ グループワークの成果発表
- ◇ 市長総括
- ◇ 閉会のことば

■ グループワーク（まとめ）の活用

グループワークの中で出た提案や意見等に対して、市の考え方を明確にし、整理した資料を公式ホームページや市広報を通じて広報する。

また、下松市自治会連合会と課題整理のための協議を行い、その他コミュニティ団体に情報提供し、今後のまちづくりに繋げていくこととする。

● 市長と地域の井戸端会議 主催者

■ 下松市自治会連合会役員【令和元年度～令和2年度】

敬称略

役職名	氏名	地区連合会名
会長	田中 豊	西 地区
副会長兼事務局長	林 孝昭	東陽地区
副会長	辻 國政	笠戸地区
	河野 利男	中央地区
理事	清木 健一	豊井地区
	竹中 喜久美	旗岡地区
	山本 誠一	南 地区
	藤井 洋	北 地区
	山岡 喜久吉	久保地区
	風井 啓二	花岡地区
	三吉 武	末武地区
	渡辺 敏之	中村地区
	内富 芳隆	米川地区
監事	河内 裕文	東陽地区
	古賀 寛三	中央地区

■ 下松市出席者

下松市長・下松市副市長・下松市総務部長・企画財政部長
建設部長（豊井会場）

■ 事務局

秘書広報課長・市民協働推進係長・広報広聴係長

● 全会場の開催状況

開催日	会場	テーマ	グループワーク 参加者
			観覧者
10月15日(火) 19:00~20:50	下松市駅南市民交流センター きらぼし館 ・西地区 ・南地区 ・旗岡地区	A:安全安心と魅力ある地域づくり B:安全安心 C:地域の安全安心 D:安全安心の確保充実 人々を引き付ける魅力ある地域づくり	41名
			市自治会連合会長 市議会議員5名 市職員1名
10月16日(水) 19:00~20:50	下松市市民交流拠点施設 ほしらんどくだまつ ・中央地区 ・北地区	A:安全安心まちづくり 魅力ある地域づくり B:安全・安心の確保充実 魅力ある街づくり C:安全安心 D:高齢者の住みやすい町づくりを構築する にはどうしたらよいか	35名
			市自治会連合会長 市議会議員2名 市職員5名
10月21日(月) 19:00~20:50	久保公民館 視聴覚室 ・久保地区	A:久保地区における問題 B:安全安心について	13名
			市自治会連合会長 公民館長/公民館主事 市議会議員1名 市職員2名
10月28日(月) 19:00~20:55	東陽コミュニティーセンター ・東陽 切山地区	A:安全安心で魅力ある地域づくり B:地域の安全安心 魅力ある地域づくり C:地域の安全安心: D:地域の安心安全	35名
			市自治会連合会長 市議会議員1名 市職員1名
10月31日(木) 18:30~20:25	花岡公民館 視聴覚室 ・花岡地区	A:花岡地区の安全安心とその他の事項 B:魅力ある地域 C:地域の安全安心を D:地域の安心安全 魅力ある地域づくり	27名
			市自治会連合会長 公民館長 市職員1名
11月6日(水) 18:30~20:25	末武公民館 ・末武地区	A:魅力あるまちづくり/安全なまちづくり B:もし台風15号と19号が下松に来たら C:末武地区の問題 D:安全安心	28名
			市自治会連合会長 市議会議員3名 公民館長/主事 市職員1名
11月7日(木) 19:00~20:50	米川公民館 ・米川地区	A:安心安全な地域 B:米川地区の課題 C:米川地域の安全と活性化 D:米川地区の安心安全とその他の事項	37名
			市自治会連合会長 市議会議員1名 公民館長/公民館主事 市職員2名

11月8日(金) 19:00~20:45	中村総合福祉センター ・中村地区	A: 安全 B: 自治会の問題について	9名
			市自治会連合会長 市議会議員2名 市職員2名
11月11日(月) 19:00~21:05	笠戸島公民館 ・江の浦地区	A: 地域の安全安心 B: 人を引き付ける魅力ある地域づくり C: 地域の安全安心 人を引き付ける魅力ある地域 D: 安全安心	29名
			市自治会連合会長 公民館長/公民館主事 市議会議員1名
11月13日(水) 19:00~20:40	笠戸公民館 ・本浦地区	A: 地域の安全安心 B: 安全安心・まちづくり	17名
			市自治会連合会長 市議会議員1名
11月14日(木) 19:00~21:00	深浦公民館 ・深浦地区	A: 魅力・安全・安心 B: 深浦地区の要望 C: 深浦地区の課題 D: 深浦地区の課題	22名
			市自治会連合会長 公民館長 市議会議員1名 光市職員3名
11月18日(月) 19:00~20:55	豊井公民館 ・豊井地区	A: 豊井地区の課題 B: 安全安心 C: 豊井地区の課題 D: 豊井地区の課題	27名
			市自治会連合会長 公民館長/公民館主事 市議会議員3名 市職員2名

● 各会場のグループワークを通じて共有されたキーワード
(地域が抱える重要課題)

会場名	グループワークで出たキーワード
下松西地区 南地区 旗岡地区	<p>A 地域の特色/買物/安全安心/子ども/公園・広場・自治会 大城の活用</p> <p>B 防犯カメラ・外灯の設置/切戸川の整備 高齢者が住みやすいまちづくり</p> <p>C 集会所の再利用化/高齢化コミュニケーション/防犯カメラ カーブミラーの充実</p> <p>D 地域の問題点/三世交代/きれいな地域づくり/土地の有効化</p> <p>◆子ども達の防犯 ⇒通学路に監視員を配置 ⇒防犯パトロールを強化 ⇒防犯カメラを増設</p> <p>◆防災 ⇒切戸川の整備</p>

	<p>⇒危険箇所と避難経路の再確認 ⇒災害時を想定したシュミレーションと訓練を実施</p> <p>◆高齢者も住み良い街に ⇒スーパーがなく買物が不便 ⇒一本松老人集会所に替わる老人集会所の建設</p> <p>◆住民の繋がりが弱体化 ⇒自治会未加入世帯が増加 ⇒集会所の利用機会が少ない ⇒声掛けやあいさつを励行</p>
<p>下松中央地区 北地区</p>	<p>A きれいなまちづくりに対する問題点／野良犬・野良猫対策／個人情報 B 切戸川の整備／野犬対策／通学路対策／街路灯／廃屋・空き家 魅力あるまちづくり C 安全安心／野良犬対応 D 地域の問題点の抽出／敬老祝金／自治会／災害対応／道路の改善 下松駅界限／身近な買物事情／子ども</p> <p>◆防災 ⇒自主防災組織づくりが遅れている ⇒切戸川の整備 ⇒避難経路の再確認 ⇒要支援者の把握</p> <p>◆住民の繋がりが弱体化 ⇒マンションの林立に伴い自治会未加入世帯が増加 ⇒子ども会の未設立または解散 ⇒個人情報保護の壁もあり支援を必要としている高齢者の把握が困難</p> <p>◆野犬・野良猫対策 ⇒学校やスーパーの敷地内に出没</p> <p>◆買い物が困難 ⇒スーパーがなく買い物が不便</p> <p>◆子ども達の防犯と交通安全 ⇒街路灯・防犯灯が不十分 ⇒通学路の安全を確保</p> <p>◆空き家問題 ⇒倒壊が心配 ⇒庭木が繁茂</p>
<p>久保地区</p>	<p>A 高齢化対策／防犯対策／土地活用 B 鳥獣問題／自主防災／防犯防災に対する意識づけ／子どもの安全 インフラ整備／地域のつながり</p> <p>◆防災 ⇒防災無線が聞き取りにくい ⇒自主防災組織の体制が弱い ⇒要支援者への対応が未確定</p> <p>◆子ども達の交通安全</p>

	<p>⇒通学路の安全を確保</p> <p>◆住民の繋がりが弱体化</p> <p>⇒高齢化と人口減で拍車</p> <p>⇒緊急時の連絡網が不徹底</p> <p>◆土地の有効活用</p> <p>⇒特に来巻地区の市街化調整区域指定の解除</p>
東陽・切山地区	<p>A 道路・樹木／地域づくりの組織</p> <p>B 地域の安全安心／公園・道路・草木の整備／道路・交通 魅力あるまちづくり</p> <p>C 公共交通機関／少子化・高齢化／緑／防犯・防災／交通安全 犬・マナー／道路・施設の老朽化／外灯／活力ある地域に</p> <p>D 災害／交通／お隣を密にした安全安心／将来的な希望 東陽地区の現状</p> <p>◆美観と緑化のバランス</p> <p>⇒街路樹や雑草が成長し過ぎて交通に支障あり</p> <p>◆防犯と交通安全</p> <p>⇒特に切山地区の街路灯・防犯灯が不十分</p> <p>⇒通学路上に防犯カメラを設置</p> <p>⇒交番がない</p> <p>⇒団地内の速度超過が多い</p> <p>◆防災</p> <p>⇒東陽コミュニティーセンターを防災拠点施設として整備</p> <p>◆高齢者も住み良い街に</p> <p>⇒かつては若い団地だったが高齢化が進行</p> <p>⇒マイカーに替わる新たな移動手段の確保</p> <p>⇒スーパーがなく買い物が不便。コンビニの出店を期待</p>
花岡地区	<p>A 自主防災組織／炊き出し準備／交通安全／敬老祝金／駐車場／防犯灯</p> <p>B 児童・高齢者・地域の現状</p> <p>C 訓練・教育／自主防災／要介護者対応／安全な街を／地域の輪</p> <p>D 防災・防犯／コミュニケーション／見守り／健康／文化／生活道 通学路／空家／環境／設備</p> <p>◆防災</p> <p>⇒自主防災組織の増設と、その組織間での連携を促進</p> <p>⇒地域や家庭で危険箇所や避難行動を再確認</p> <p>⇒学校と合同で訓練を実施</p> <p>◆交通安全</p> <p>⇒八幡通りの改良・拡幅</p> <p>⇒岩徳線踏切や八幡通りと西条線の交差点が長年の危険箇所</p> <p>⇒道路標識や表示が劣化し不明瞭</p> <p>◆住民の繋がりが弱体化</p> <p>⇒流入世帯やアパートの増加に伴い近所づきあいが希薄化</p> <p>⇒高齢化が進む中、見守りや声掛けがますます重要</p> <p>⇒緊急時の連絡網が未確立</p>

<p>末武地区</p>	<p>A コミュニティづくり／伝統行事／地域の遊び場／企業誘致／道路整備 災害情報告知と末武公民館の信頼性／災害駆除／防犯／高齢者支援</p> <p>B 災害／平田川の氾濫／情報／避難／ライフライン／災害対策</p> <p>C 公民館／避難／洪水／都市計画／ゴミ／道路・交通</p> <p>D 高齢者／道路・交通／平田川・洪水</p> <p>◆交通安全 ⇒河川沿いや踏切近くの車道が狭い ⇒歩道が未整備の箇所がある</p> <p>◆防災 ⇒末武川と平田川の氾濫防止 ⇒末武公民館が避難所になっていることの適否 ⇒避難場所と避難経路の再確認 ⇒ハザードマップの更新 ⇒要支援者への対応 ⇒防災無線が聞き取りにくい</p>
<p>米川地区</p>	<p>A 道路整備／限界集落対策／防災／活用／子どものために</p> <p>B 住環境／少子高齢化／道路／自然環境／移動手段</p> <p>C 魅力あるまちづくり／防災／鳥獣対策／くらし・交通</p> <p>D 防災／安全／魅力あるまちづくり／交通／米川の魅力</p> <p>◆移動手段の確保 ⇒コミュニティバスの運行に支障がないよう道路を整備 ⇒防長バスの増便 ⇒商店がないため移動販売車をルート化</p> <p>◆高齢化と人口減少 ⇒空き家の増加 ⇒耕作放棄地が増加 ⇒移住者の呼び込み</p> <p>◆防災 ⇒防災無線が聞き取りにくい ⇒防災ラジオが受信できない ⇒避難所まで遠い ⇒道路寸断時の対応</p> <p>◆猿・熊・イノシシ対策 ⇒田畑の担い手不足により里山が衰退し野生動物が身近に</p>
<p>中村地区</p>	<p>A 住民トラブル／生活／安心／災害／高齢者避難援助 川の増水時の対応</p> <p>B 災害／環境整備／見守り／自治会の組織／ゴミ問題／ 地域活動の一環である神社</p>

<p>中村地区</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆住民の繋がりが弱体化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒自治会未加入世帯が増加 ⇒若い世代が自治会活動に消極的 ⇒ゴミ出しルールやマナーが不徹底 ◆防災 <ul style="list-style-type: none"> ⇒竹屋川と末武川の氾濫防止 ⇒要支援者の把握と対応方法の事前確認
<p>江の浦地区</p>	<ul style="list-style-type: none"> A 交通／高齢化／環境／防災／野犬・イノシシ B 観光整備／環境整備 C 防災／安心／動物／海の魅力 D 害獣／空き家対策／災害／交通／環境 <ul style="list-style-type: none"> ◆移動手段の確保 <ul style="list-style-type: none"> ⇒買物・通院が不便 ⇒コミュニティバスの運行 ◆防災 <ul style="list-style-type: none"> ⇒災害時は大城に避難したいが、条件やタイミングが曖昧 ⇒笠戸島公民館が避難所になっていることの適否 ⇒防災無線が聞き取りにくい ◆イノシシ・野犬対策 <ul style="list-style-type: none"> ⇒特にイノシシが増加し人的被害のおそれ
<p>本浦地区</p>	<ul style="list-style-type: none"> A 災害避難／野犬・いのしし／バス停／安全なまちを B 安全安心／まちづくり／野犬・いのしし <ul style="list-style-type: none"> ◆イノシシ・野犬対策 <ul style="list-style-type: none"> ⇒特に高齢者と子どもの人的被害のおそれ ◆移動手段の確保 <ul style="list-style-type: none"> ⇒買物・通院が不便 ⇒バス停の移動 ⇒コミュニティバスの運行 ◆高齢化と人口減少 <ul style="list-style-type: none"> ⇒独居高齢者の安否確認 ⇒空き家が増加 ⇒市街化調整区域の指定を解除し移住者を呼び込む
<p>深浦地区</p>	<ul style="list-style-type: none"> A 魅力／体育館／安心・交通・設備／安全・防犯／災害時 B 体育館／イノシシ／防災／交通／道路 C バス／体育館／道路／笠戸島ハイツ／防災 D バス／道路／地区の問題点

<p>深浦地区</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆旧中学校体育館 ⇒体育と憩いの施設として体育館を早期に再開 ◆イノシシ・野犬対策 ⇒農作物の保護 ⇒人的被害のおそれ ◆人口減少 ⇒空き家の増加 ◆防災 ⇒台風時の高潮対策 ◆移動手段の確保 ⇒バス路線の継続 ⇒コミュニティバスの運行
<p>豊井地区</p>	<p>A 防災／区画整理／環境衛生 B 店・施設／人／水／道路 C 大谷ダムの安全安心／交通対策／住みやすい街 子どもを育てやすい町／環境 D 自治会の課題／豊井地区整備／バスの件／交番／コミュニティの件 防災／野犬</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆大谷ダムと大谷川 ⇒安全性に不安 ⇒観光スポットして活用 ◆道路・下水道等のインフラ整備 ⇒大雨時の排水能力が低い ⇒車道が狭く側溝はガタガタ ⇒歩道が凸凹。歩道自体がない箇所もある ⇒下水道が未整備 ⇒消防車や救急車が入れない ◆交通安全 ⇒朝・夕がラッシュで混雑 ⇒通学路の安全性を確保 ◆少子化・人口減少 ⇒若い世代と子どもが減少 ⇒高齢者が相対的に増加 ◆買い物が困難 ⇒スーパーや商店がなくバス停もない

「井戸端会議」における地域の課題整理について(総括)

- ・ 移動一日販売車の稼働
- ・ 集会所の有効活用、行事の「活性化」

- ・河川の危険個所の把握と改善、国・県への河川改修整備要望について
- ・市街化調整区域について
- ・花岡八幡通りの交通渋滞解消と安全対策について
- ・市道大手線の末武公民館から公集小学校北側の道路未拡幅改良部分の早期整備について
- ・市道大海線の今後の工事内容について
- ・末武公民館の改築について
- ・笠戸島内バス停位置変更について
- ・深浦公民館体育館の改修について
- ・県道笠戸島線の街路灯の点灯について
- ・笠戸島ハイツの閉館後の有効活用について
- ・県道笠戸島線の樹木の伐採について
- ・豊井地区まちづくりの計画的な推進について
- ・大谷川、大谷ダムの安全安心について

市内全般にわたる課題

- ・大規模化する災害対応について
- ・野犬対策について
- ・有害鳥獣対策について
- ・市内各地の草刈りについて
- ・路面標示の整備について
- ・歩道の整備について
- ・防犯・交通安全対策について
- ・公園トイレの洋式化
- ・河川氾濫防止のための治水対策
- ・公共交通不便地域での移動の利便性向上

● 井戸端会議の概要

下松西地区・南地区・旗岡地区

- 日 時：令和元年 10 月 15 日（火）19：00～20：50
- 会 場：下松市駅南市民交流センター会議室 1・2
- 参 加 者：41 名
- グループ：4 グループ編成
地区自治会連合会、民生委員、子ども会、PTA などの地域活動団体の幅広い年齢層の方々が出席。

オブザーバー 下松市自治会連合会長
市議会議員 5 名
市職員 1 名

A グループ 9 名

テーマ：安全安心と魅力ある地域づくり

地域の特色

- ◇ 駅、港、ラーメン店がある。
- ◇ 高齢者と高層マンション
- ◇ まつりやイベントが多い。
- ◇ 盆踊りや風鎮踊りがなくなった。

買物

- ◇ スーパーがなくなった。食品の店がなくなった。
- ◇ 移動一日販売車の稼働

安全安心

- ◇ 通学路の全ての角に監視員を
- ◇ 切戸川の低い所にフェンスなし。
- ◇ 無電柱化

子ども・公園・広場

- ◇ 子ども会行事に参加する者が少ない。
- ◇ 高齢者と子ども会の交流
- ◇ 公園、広場を作ってほしい。

自治会

- ◇ 中島町自治会は総会に人が多く集まり、花見的な弁当が出て、人の交流がある。
- ◇ 自治会の未加入問題
- ◇ 自治会加入の意識（必要性）を・・・市はもっと PR を
- ◇ 自治会員の自覚
- ◇ マンションが多い、若い人が多い。中央地区は集合住宅が非常に多い
- ◇ 情報伝達に支障あり。
- ◇ 集会所使用

大城の活用

- ◇ 送迎の拡充
- ◇ イベントの開催（綱引き大会、3人抜き芸人大会、野菜市場開催）

B グループ 10 名

テーマ：安全安心

防犯カメラ・外灯の設置

- ◇ いたずら防止
- ◇ 夜間照明を整備して安全なまちづくり。明るいまち。
- ◇ 下松駅前の街路灯が少ない。
- ◇ ゴミの不法投棄
- ◇ パトロール等の実施
- ◇ 防犯パトロール強化が必要である
- ◇ 子どもたちの安全
- ◇ パトロールの人を増やせないか。パトロールのスタッフを増やす方法はどのようなことが考えられるか。

切戸川の整備

- ◇ 豪雨に備えた切戸川の堤防の改修及び補強
- ◇ 切戸川の氾濫防止
- ◇ 想定外の災害・訓練と情報の共有
- ◇ 異常気象と災害規模の拡大に伴う手の打ち方
- ◇ 河川の氾濫と決壊に伴う想定外シミュレーションの確立
- ◇ ハザードマップと認識と再確認
- ◇ 避難場所の確立
- ◇ 災害時の避難場所として「きらぼし館」の開放

高齢者が住みやすいまちづくり

- ◇ スーパーを作ってほしい
- ◇ うそ電話詐欺
- ◇ 街の環境を守る
- ◇ ゴミの不法投棄
- ◇ 空き家等対策特別措置法に基づく代執行の実施
- ◇ 代執行はどうすれば、できるのか？
- ◇ 駅前に駐車場を整備して、交通安全を

C グループ 11名

テーマ：地域の安全安心

集会所の再利用化

- ◇ 今まで一本松老人集会所は、南地区の住民の唯一の集会施設
- ◇ 一本松集会所の再開を。一本松老人集会所は解体か。

高齢化コミュニケーション

- ◇ 安全でない所等を調査し、わが町の現状を知る。
- ◇ 近所の人と日頃からコミュニケーションをとる。
- ◇ 高齢化一人住まい

防犯カメラ・カーブミラーの充実。電柱地中化。

- ◇ 南地区に防犯カメラの設置がなく、市の方で何か所か設置できないか。
- ◇ 狭い道が多いので、標識やミラーを充実してほしい。
- ◇ 防災無線が聞き取りにくい。
- ◇ 道が狭いので、電柱の地中化を望む。
- ◇ 地震の時に鳥居が倒れた場合、誰が責任をとるのか。

D グループ 11名

テーマ：安全安心の確保充実／人々を引き付ける魅力あり地域づくり

地域の問題点

- ◇ 野犬の増加

- ◇ 3丁目個人住宅付近では、最近野犬が多い。小さい子どもがいるので、心配。
- ◇ 野良犬の餌になるようなものは出さない。
- ◇ ハトの被害・ハト対策。古い建物にたくさん巣を作っている。
地域⇒餌やりを減らす
⇒市・県の協力依頼
- ◇ 普段から自分の地区の危険場所をしっかりと知っておく。
- ◇ 停電など緊急時の避難場所
- ◇ 避難所の拠点は、集会所です。
- ◇ 外灯を付けることをしましたが、遅い
- ◇ 災害の時にどんな助けが必要か、何ができるか。
- ◇ 交通の不便、バスの減便等。高いところなので、降りるのはいいが帰るのが大変。
- ◇ 連絡網の充実

三世代交流

- ◇ 声かけ、あいさつ・隣人との助け合い（ふれあい・声かけ）
- ◇ 日頃から出会った時に、気軽にあいさつを
- ◇ 地域の多く人と触れ合おう⇒集会所の有効活用・行事の活発化
- ◇ 住みやすい旗岡を作るためには、皆にあいさつ。

きれいな地域づくり

- ◇ きれいな町に草取りも大切。草刈りが大変な時にシルバーも遅い。
- ◇ 何十年もやっている草刈りをなんとかしてほしい。高齢化が進んで、実費でやっている。
- ◇ 地震・台風等の対策に、町内の行事に、たくさん参加してコミュニケーションをとる。全てコミュニケーションから始まる。 ⇒三世代交流
- ◇ ゴミのない町内を。樹木の伐採、急斜面など
⇒地域で可能な部分は地域で、地域では難しい部分を行政に。

土地の有効化

- ◇ 市営跡地の土地の有効活用として、コンビニ、医院、皆が集まるコミュニケーションの場を。
- ◇ 市営住宅の老朽化。地震、大きな台風が来たら場合、危険。早急に対応を。市営住宅が必要か。
- ◇ 旗岡地区に若い人が住めるように、市営。県営を少なくして、マンション化を進める。



下松中央地区・北地区

- 日 時：令和元年 10 月 16 日（水）19：00～20：50
- 会 場：下松市市民交流拠点施設ほしらんどくだまつ 交流室 5A5B
- 参 加 者：35 名
- グループ：4 グループ編成
中央地区、北地区の自治会長の出席

オブザーバー 下松市自治会連合会長
下松市議会議員 2 名
市職員 5 名

A グループ 10 名

テーマ：安全安心まちづくり／魅力ある地域づくり

きれいなまちづくりに対する問題点

- ◇ 歩道が狭い。道路のデコボコが多い。道路の整備をしてほしい。
- ◇ 溝にふたをかける。
- ◇ 街の外灯を増やす。道が暗い。夜走る人が多いが、わかりにくい。
- ◇ 児童公園の管理
- ◇ 防犯カメラの増設
- ◇ 学校での交通マナー教育。自転車走行マナーの悪さ（右側通行・並列走行）
- ◇ 公園のトイレが汚い。クモの巣がはっていて、子どもが怖がる。
- ◇ 階段に手すりをつけてほしい。
- ◇ 町内の高齢化。少子高齢化で地域が衰退
- ◇ 空き家の問題
- ◇ 老人施設をもっと増やしてほしい。
- ◇ 自治会でも防災活動に力を入れたい。現在 21 名を 30 名にしたい。
- ◇ 地域自主防災組織の設立
- ◇ 組織づくりに困難さがある。
- ◇ 自主防災組織設立の条件に、避難行動要支援者避難支援制度が入るかどうか。

野良犬・野良猫対策

- ◇ よくいのししが出ています。

個人情報

- ◇ 個人情報保護の名目で、活動が狭められる。自治会の限界。
- ◇ 駅北・駅南方面でおられる老人のために市営の商店を作ったらどうか。現在市の方で老人祝金をやめて、その金でやる。

問題点

- ◇ 若者が買い物に来るような店がほしい。
- ◇ 雨の日に子どもが遊べるような施設がほしい。
- ◇ 若い人はできるだけ結婚してほしい。
- ◇ モノづくりのまちの特徴を生かす。鉄道車両、造船のまちを観光に生かす。
- ◇ 80 周年を機会に総踊りを見直す。若者のよさこいだけでいいのではないか。
- ◇ まちなみ鳥瞰図を作る。
- ◇ ラーメン屋さんマップを作る。
- ◇ ふるさと納税の PR が少ない。
- ◇ 海の駅の開設
- ◇ 笠戸島を一周できるサイクリングロードを作る。
- ◇ 大学、専門学校の誘致

B グループ 10名

テーマ：安全・安心の確保充実／魅力ある街づくり

切戸川の整備

- ◇ 河川が家より上にある。
- ◇ 砂防堤の容積確保
- ◇ 切戸川の氾濫が怖い。切戸川が近い。
- ◇ 切戸川の橋の付け根が浸食されている。
- ◇ 切戸川の氾濫。中洲が多い。昨年の大雨時、道路まであと 30 cmであった。

野犬対策

- ◇ 野犬がアルク、橋の下にいる。野犬が多い。
- ◇ 野犬に餌をあげない。捕獲おりの利用 PR

通学路対策

- ◇ 通学路が狭く、見通しの悪い交差点が多い。
- ◇ 市役所前の交差点の安全という点で、信号を渡るために待機している子供が事故に巻き込まれないように、安全ポールを設置する。

街路灯

- ◇ 街路灯の数が少ない。

廃屋・空き家

- ◇ 廃屋・空き家が崩れるのが心配。庭木が茂り、道路にはみ出ている。

魅力ある街づくり

自治会

- ◇ 自治会に入らない者がいる。
- ◇ 自治会内での人と人のつながりが薄い。特に、子ども同士がない。子ども会がない。
- ◇ 買い物が便利。買い物がしやすい。

行政施設が近い

- ◇ 警察・消防署・アルク・タウンセンター・市役所が近い。病院、店が近くて住みやすい。
- ◇ 春は桜がきれい。

観光

- ◇ 観光地が少ない。
- ◇ 駅前がさびしい。
- ◇ 観光都市下松。大城を核とした観光。笠戸島ハイツの跡地利用として、パークゴルフ場を提案。
⇒自治会の役割周知、加入の PR
祭などイベントで三世代交流を

C グループ 8名

テーマ：安全安心

- ◇ 切戸川の整備
- ◇ 町内の話し合いの場がほしい。
- ◇ 通学路の安全を確保する
- ◇ 駅周辺に多くマンションが建設されていますが、下水管が増設されていないような気がします。

- ◇ 中央地区自治会連合会の会合に各自治会長（特にマンション自治会）の出席が鈍い。
- ◇ 各自治会の班のメンバーを確認する。
- ◇ 自治会の 77 歳以上の人がどこに住んでいるか確認する。
- ◇ 自治会役員が高齢化になり、大変
- ◇ 災害の発生が予想される時、地域と行政（市役所）との連絡・連携の迅速な対応が求められる。
- ◇ 図書館に週刊誌を入れてほしい。
- ◇ 防災無線、豊井公民館聞こえない。
- ◇ 下松駅前の自転車の通行について、外国人や学生に問題あり。
- ◇ 駅前ロータリーを整備
- ◇ マンションが 9 棟あり、不法駐車が多く困る。
- ◇ 空き家があり対策が必要
- ◇ 放置自転車が困る。
- ◇ 北斗町の防犯灯について考えてほしい。
- ◇ 議会説明会を早く開いてほしい。
- ◇ 災害時の集合場所を作ってほしい。
- ◇ 生活用品等すべての買物が困難である。
- ◇ 敬老祝い金の使い方を考えてほしい。
- ◇ 多くの人が集まる場所が少ない。
- ◇ 困っている高齢者がどこにおられるかわからない。

野良犬対策。

- ◇ 野良ネコ、ふんがい。

D グループ 7名

テーマ：高齢者の住みやすい町づくりを構築するにはどうしたらよいか。

地域の問題点の抽出

- ◇ 下松市の総合順位 22 の解析

敬老祝金

- ◇ 敬老祝い金 75 歳以上支給は一考する。
- ◇ 敬老の日に地域の方々が長寿であることは喜ばしいこととございます。これからますます長寿の方が増加していくことが予想されます。敬老祝金の予算が心配です。

自治会のコミュニケーション

- ◇ 自治会未加入者が多い。
- ◇ 各ジャンルでのリーダーが少ない。
- ◇ ゴミステーションの金網目の細かさ、粗さが自治体によって異なり、目の粗いところではカラスによる被害も見られる。金網を新たに張るには、その都度事業者の手が必要となる。
- ◇ 安全安心まちづくりに大賛成です。当自治会付近は、ポイ捨てタバコが多いので、危なくて心配しております。火事とか、子どもの教育面とかです。

災害対応

- ◇ 豪雨や台風などで水害が発生した際、避難場所である公民館の立地。（海拔が低い。切戸川に近い。）について、不安な声が上がっている。避難経路が明確でない。
- ◇ 車いすで生活されておられる方から、「災害時は諦めています」という声がありました。
- ◇ 縦割り行政の調整役がほしい。

野犬問題

- ◇ 猫や犬の放置

- ◇ 下小付近に野犬がいる。

道路の改善

- ◇ 市道の整備
- ◇ 駅北口の乗降場所の使用の仕方について
- ◇ 市役所及び企業の清掃が悪い。
- ◇ 歩道のデコボコの修繕
- ◇ 道路の歩道で化粧石を敷き詰めて、次第にデコボコになっていきます。歩きにくいです。
- ◇ 国道の雑草が繁茂

下松駅界限

- ◇ 駅付近路上駐車が多くなってきている。
- ◇ 来客用の駐車場が少ない。
- ◇ ロータリーにもっと屋根を
- ◇ 駅近くの外灯が少なく、夜歩けない。

身近な買物事情

- ◇ 駅近くにスーパーが少ない。
- ◇ 集合住宅が駅前に増えているのはうれしい。その分買物ができる場所が近くにほしい。
- ◇ 買物が車なしでは不便。店が近くにない。
- ◇ 中央地区にスーパーがない。近くにミニスーパーがほしい。

子どもに関わること

- ◇ 子どもたちが安全に生活できるように、防犯ブザーなど入学記念にはむりでしょうか。敬老の予算も大事ですが、子どもたちを大切にするまちでありたいです。
- ◇ 学生の交通教育（駅前の自転車置き場のマナー）
- ◇ 子ども会の解散について

問題点の対応策

- ◇ フリーマーケットの構築の検討
- ◇ 高齢者見舞金→活用見直し
- ◇ 75歳以上 5,000円 → 4,500万円/年
- ◇ 高齢者のゴミ出しの方法と対策



久保地区

- 日 時：令和元年 10 月 21 日（月） 19：00～20：50
- 会 場：久保公民館視聴覚室
- 参 加 者：13 名
- グループ：2 グループ編成

久保地区の自治会長の出席。久保地区は、久保福祉協議会が地域コミュニティの中核団体であり、その組織の中に社会福祉、環境衛生に関する団体が包括されている。

オブザーバー 下松市自治会連合会長
市議会議員 1 名
市職員 2 名
公民館長／公民館主事

A グループ 6 名

テーマ：久保地区における問題

高齢化対策

- ◇ 自治会が高齢化、人口減で弱体化しつつある。
- ◇ 交通の便が悪い。
- ◇ 久保市のバス停がなくなる。
- ◇ 子どもたちの見守り体制
- ◇ 田舎の自治会と団地の自治会が助け合う。
- ◇ 自然を利用して子どもの教育
- ◇ 市有林の利用、不耕作農地の利用
- ◇ 自治会の役員になり手が少なく、役員になっても自主的に働く人が少ない。
- ◇ 地域の子ども、育成活動への支援
- ◇ 高齢者の増加、交通問題、買い物、通院、コミュニティバス。
- ◇ 緊急時の連絡網が徹底していない。

防災対策

- ◇ 川の問題。雨のあとの切戸川の水があふれそうになる。
- ◇ ハザードマップの周知と見直し
- ◇ 防災無線の音量の問題。防災無線が活かされているかどうか、機能しているかどうか分からない。
- ◇ 災害時の要支援者対応をどうするか決まっていない。
- ◇ 自主防災組織の今後の指導
- ◇ 空き家の問題
- ◇ ハザードマップの活用

土地活用

- ◇ 来巻地区の用地活用が難しい。
- ◇ 来巻地区の現在、資材置場、土砂置場だけの活用
- ◇ 来巻地区は限界集落化している。空き家が増加している。
- ◇ 来巻地区の市街化調整地域、農業振興地域農用地、用地法制限を解除努力してほしい。来巻地区は、農業振興地域であるが、ほとんど原野化されている。農業従業者もごく一部。
- ◇ 切山下村の市街化調整地区に指定されているが、解除できないか。

行政と地域との関係

- ◇ 特定の人が委員となって、一般の人の意見が反映されにくい。意見を言う機会が少ない。一般市民が市政に参加したり、意見を。

魅力ある地域づくり

- ◇ 切山歌舞伎の衣装がボロボロ

B グループ 7名

テーマ：地域の安全安心について

鳥獣問題

- ◇ 有害鳥獣問題
- ◇ クマが出たらどこに連絡を
- ◇ 野良犬対策
- ◇ 小さいお子さんを遊ばせにくい

自主防災

- ◇ 防災ラジオの無償提供
- ◇ 防災無線を聞いたことがない。聞こえない。
- ◇ 防災訓練をどうやるべきか。
- ◇ 安全な避難場所ってどこ？
- ◇ 自治会長が毎年交代しているが、自主防災組織は稼働しているのか。
- ◇ 形だけの自主防災組織
- ◇ 災害の連絡における身体障害者対応

防犯防災に対する意識づけ

- ◇ 各自治会の意識が足りない。
- ◇ 自助・共助の考え方の浸透が難しい。

子どもの安全

- ◇ 子どもたちの帰宅は今の状態で安全なのか。
- ◇ 学校にいる時、子どもの安全を守る課題

インフラ整備

- ◇ 久保郵便局が潰れ、情報伝達が悪くなる。
- ◇ 光市への道路
- ◇ 田畑の水路が崩れ、直すのが大変
- ◇ 川の周辺の家が安全であるか。不安、危険で様子を見に行くことができない。
- ◇ 市道成川線の入口が危ない。
- ◇ 大雨で法面が崩れて農道及び水路が不通になった。
- ◇ 市道の拡幅
- ◇ 最近水害が多い。
- ◇ 何年前か前、台風で停電になった。
- ◇ 切戸川の氾濫。川幅が狭くなっている。
- ◇ 出合から奥までの公共移動手段がない。
- ◇ 久保小から岩徳線の山側、竹倒れる。岩石落ちる危険

地域のつながり

- ◇ 街に飲みに出るのに、バスの便が少ない。
- ◇ 消防団員の募集
- ◇ 隣近所のつながりが少ない。
- ◇ 一人暮らしが多く、地区の話し合いが難しい。
- ◇ 高齢者が多く、活動力が落ちて、自分での対応ができない。
- ◇ 高齢者層と若手層の関わりが少ない。
- ◇ 災害時連携が難しい。
- ◇ 隣近所との情報交換が薄い
- ◇ 地域の方の問題意識が低下している。

- ◇ 地域との繋がり
- ◇ 地区であったことをどこに連絡して、解決するかがわからない。



東陽・切山地区

- 日 時：令和元年 10 月 28 日（月）19：00～20：55
- 会 場：東陽コミュニティーセンター大会議室
- グループ：4 グループ編成
- 参加者：35 名

オブザーバー 下松市自治会連合会長
市議会議員 1 名
市職員 1 名

A グループ 8 名

テーマ：安全安心で魅力ある地域づくり

東陽地区に関わること

道路・樹木

- ◇ 山銀の横の T 字路が危ない。
- ◇ 道路の横断歩道、中央線の表示が状況が悪い。
- ◇ 木が伸びてカーブミラーが見えない。
- ◇ 三叉路の一旦停止が薄くなって、交通状況が悪い。
- ◇ 公園の木が大きくなりすぎているところがある。
- ◇ 歩道の安全対策
- ◇ 木の根の肥大化によるアスファルトの凹凸がある。
- ◇ 地下道のアスファルトの凹凸
- ◇ 街路樹が大きくなりすぎて、地震、台風で倒れそうで不安である。
- ◇ 子どもの事故防止。道路に飛び出しで見えない所がある。歩道の植え込みが邪魔になるところがある。

組織

- ◇ 魅力ある地域づくりを進めていく組織が分かれている。（4～5組）
- ◇ 魅力ある地域づくりを進めていく上では、組織を一本化していく必要がある。
- ◇ 地域づくりの拠点がない。
- ◇ 東陽コミュニティーセンターの整備。センターの委託料の引き上げ

全市的に関わること

道路・交通・観光

- ◇ 今は運転できるからいいけど、運転できなくなった時の交通手段が心配。
- ◇ バス・岩徳線の本数が少ない。
- ◇ 幹線道路の老朽化による水たまりが多い。
- ◇ 道路の排水状況が悪い。
- ◇ 下松にしかないモノを作る。
- ◇ 観光名物～海中水中水族館
- ◇ 東陽団地と同じような団地を米川に作る。

B グループ 9 名

テーマ：地域の安心安全／魅力ある地域づくり

地域の安心安全

防災

- ◇ 福祉避難所を作る。
- ◇ 災害は忘れたころにやってくる。よって、安全な地域はない。各地域に災害活動隊を作ってはどうか。
- ◇ 地域で共有できる防災情報・SNS 等

- ◇ 耳の不自由な方への情報提供
- ◇ よく聞こえる防災無線がいる。
- ◇ 東陽地区に災害はない？
- ◇ 防災ラジオの無料全戸配付
- ◇ 安全安心防災対策。19号台風のような超大型台風や南海トラフによる巨大地震等が予想されている。道路の端にある電柱が倒れて停電になり、通信も不可能なることから、無電柱化を。

防犯

- ◇ 通学路に防犯カメラを設置する。防犯カメラをもっとつけてほしい。
- ◇ 切山地区の外灯をもっとつけてほしい。
- ◇ 車に「下松市防犯パトロール」ステッカーを付けて、パトロールに協力する。協力者を募る。
- ◇ 切山は広く、治安が心配。
- ◇ 防犯灯が少ないので、増やしてほしい。

公園・道路・木・草の整備

- ◇ 切山地区の子どもの通学路について、草が生え茂って歩きにくいので、夏は特に定期的に除草作業を行っていききたい。
- ◇ 公園の木が大きくて、子どもを遊ばせるのに不安がある。
- ◇ 国道2号線の安全管轄は国土交通省でしょうが、地域の要望については、市が対応してほしい。
- ◇ 草が歩道に大きくかかっている。

道路・交通

- ◇ 地域の方々が朝一緒に登校してくださるので安心。車の通る数が多く、スピードが出ているので、危険を予測することが大切。
- ◇ 道路のがたごとが多い。
- ◇ 交通災害を防ぐ。
- ◇ 東陽内の車のスピードが速いことがある。

その他

- ◇ 団地はまとまりがあってよい。
- ◇ 行政に頼らない。自ら自分で守る。地域で守る。

魅力ある地域づくり

住みたいと思う街

- ◇ 楽しい遊具
- ◇ 公園で遊べる。
- ◇ 子どもが住めるまちに人が集まる。
- ◇ 切山地区に下水道を通してほしい。
- ◇ 調整区域の緩和
- ◇ イベントなどがあり、楽しい。
- ◇ 切山地区は、切山歌舞伎とか伝統芸能があり、魅力的。
- ◇ シルバーの方々がとても親切で、子どもたちとの交流が多い。
- ◇ ウォーキングや犬の散歩をする方が多いので、お勧めのコースのご案内を。
- ◇ 魅力ある若い人が転入及び定着するような施策を考え実施する。

高齢者に優しく

- ◇ 東陽地区内にコンビニなどを誘致してほしい。
- ◇ 東陽地区をお年寄りのまちにするためには
- ◇ 高齢者が免許返納した時に、病院・買物はどうしたらよいか。無料タクシー。
- ◇ 買物難民対応で、移動販売車を利用できるようにする。

- ◇ 交通手段の利便性をよくする。

C グループ 9名

テーマ：地域の安全安心

公共交通機関

高齢者の交通問題

- ◇ 停留所（バス停）名称変更。「久保団地」現状に合っていない。
- ◇ 停留所（バス停）を増やしてほしい。
- ◇ コミュニティバス

少子化・高齢化

- ◇ 土地に空きがないから、新しい人が入ってこない。
- ◇ 1丁目2丁目は子ども減。子どもの数が少なくなり、今後は心配です。
- ◇ 免許返納後の買物など
- ◇ お年寄りのためのネットワークサービス化

緑

- ◇ 学校の緑地が多すぎて、5月8月の草抜きでは追いつかない。
- ◇ 公園・歩道の雑草
- ◇ 緑地帯の活用

防犯・防災

- ◇ 犯罪のない地域
- ◇ 東陽には交番がない。
- ◇ 防犯カメラ・カーブミラーがない。
- ◇ 5丁目瀧ノ口公園の死角
- ◇ 防災スピーカーが聞き取りにくい
- ◇ 避難場所の確保。小学校だけでは対応できない。

交通安全

- ◇ 切山は通り抜け道となり、車はスピードを出す。
- ◇ 警察を立ててほしい。
- ◇ 優先道路でもノンストップで止まらない。
- ◇ 歩道の整備について。団地が整備されて、30年余り経過して、特に歩道部分の破損がひどい個所が散見される表層部の整備（オーバレイ）してほしい。
- ◇ 歩道の雑草

犬・マナー

- ◇ 犬の散歩マナー
- ◇ 野良犬・野良猫の対応

道路・施設の老朽化

- ◇ 道路アスファルト老朽化
- ◇ 公園のトイレ整備

外灯

- ◇ 外灯が少ない
- ◇ 夜道が暗い、切山は切実。
- ◇ LEDは明るすぎる。

活力のある地域に

- ◇ 活力のある地域（コミュニティーセンターでの活動など）
- ◇ 地域の担い手の世代交代
- ◇ 東陽地区の魅力をアピールして人を増やす。
- ◇ サービスエリアの有効活用

D グループ 9名

テーマ：地域の安全安心

災害

- ◇ 災害時の連絡協力体制の整備
- ◇ 東陽コミュニティーセンターには、枕、毛布、担架もない。災害が起きても安心でない。
- ◇ 停電時のバックアップ対策。東陽地区はポンプが止まるため、水道が出なくなる。
- ◇ 自治会の班単位で、日常の悩み事を中心に、日ごろから話し合える機会を作って信頼関係を強めること。
- ◇ 切山・東陽地区で考えられる災害を明確にする。台風による風災害。どれくらいの雨量で、切山・東陽地区に災害が発生するか。
- ◇ 東陽地区に交番をお願いします。
- ◇ 個々のお宅が手入れされているため、公園の整備も行き届いており、見通しがよい。防災意識が高い。

交通

- ◇ 高齢者や子どものために、交通規則を守る。
- ◇ 交通事故防止。道路沿いの植木は、交差点では左右からくる車が見えにくい。
- ◇ 小学校が団地内にあるので、安全に対する意識づくりに効果がある。
- ◇ 高齢化が進み、外部との交流や購買対外的な行動に制限が起きている。地元の購買に便利な店の設置は必要。
- ◇ 白線がいつも消えている。時々パトロールして直してください。
- ◇ 通学路の安全、見守り、標識、白線など
- ◇ 公衆トイレ。瀧ノ口公園のトイレの清掃を毎週お願いしたい。
- ◇ コンビニ店出店を希望する。
- ◇ 東陽地区へのスーパーの出店を願う。
- ◇ 瀧ノ口の交差点の付近、逆光で暗い中からバイク等がいきなり目に入る。その対策は？

お隣を密にした安全安心

- ◇ 自治会ごとに一人暮らし老人を訪問する。
- ◇ 押し売りのような訪問がある。直接的な面会を強要する。向こう三軒両隣電話で連絡し合える親交関係を作る。
- ◇ 災害対策は行政にも限界があり、隣組みを大切に。
- ◇ 防災訓練を行う。
- ◇ 空き家を利用した談話室を希望
- ◇ 地震以外は安全だと思う。カーブミラーをもっと取り付けてほしい。
- ◇ 運転免許を返納した高齢者対応。坂が多く、不便なことが多くなる。
- ◇ 公園で子どもが遊んでいることは、他の地域ではあまり見かけない。
- ◇ 周辺が美しくしているため、環境に対する意識が高い。

将来的な希望

- ◇ 公民館にしてください。いつも公民館と同様にしますという言葉ばかりです。
- ◇ 東陽コミュニティーセンターを公民館にしてほしい。
- ◇ 若い人と高齢者との交流の場を作っては。
- ◇ 子どもたちが東陽で育ってよかったと思われる地域づくり
- ◇ 車を手放した時の移動をどうするか。路線バスではなく、きめ細やかな移動ができるように。

東陽地区の現状

- ◇ 若い世代が地域で活躍できること
- ◇ 地域内での催物が充実している。
- ◇ 女性が活躍している地域
- ◇ 東陽コミュニティーセンター内の駐車場の台数が少ない。
- ◇ 年配から若者までのつながりがある。



花岡地区

- 日 時：令和元年 10 月 31 日（木）18：30～20：25
- 会 場：花岡公民館視聴覚室
- 参 加 者：27 名
- グループ：4 グループ編成
自治会、民生児童委員協議会、社会福祉協議会、子ども会育成会、PTA、環境衛生推進協議会、婦人会、シニアクラブ等地域のコミュニティ団体からの出席有。

オブザーバー 下松市自治会連合会長
市職員 1 名
公民館長

A グループ 6 名

テーマ：花岡地区の安心安全とその他の事項

自主防災組織

- ◇ 自分の住んでいる地域をよく知り、防災訓練、学習会等をしっかりと確認する。
- ◇ 地域の防災訓練を度々する。（地域単位、町内単位）
- ◇ 市の呼びかけも大事
- ◇ 避難場所として、花岡公民館が指定されているが、公民館自体場所的に危険。
- ◇ 自主防災組織を各自治会単位に組織できたらいいと思う。
- ◇ 家庭（家族）で日常より防災について話し合っておくことが一番必要。
- ◇ 洪水時の最悪予想を知りたい。
- ◇ 年齢によって安全安心の考え方が大切です。（子ども、高齢者）
- ◇ ハザードマップを作成しているが、見ていない。
- ◇ 目安となる海拔表示があるとよい。

炊き出し設備

- ◇ 公民館建替え
- ◇ 公民館の調理室を使いやすくしてほしい。公民館調理室は、昭和 50 年代から公民館でお世話になった頃から全然変わっていない。いろいろな設備を新しくしてほしい。
- ◇ 講堂が避難所になっているのなら、建て替えて空調を入れてほしい。
⇒建替えの話が出た時に、アイデアを伝える。

交通安全

- ◇ 八幡通りの交通量を考えてほしい。
- ◇ 八幡通りの道が狭く、自転車や人が通りにくい。
- ◇ 生野屋踏切と西条線の車の通行が危ない。歩行者も危険。
- ◇ 八幡通りと西条線の交差点に信号をつけてほしい。

- ◇ 所々道路の白線が消えて、薄くなっている。
⇒定期的にパトロールしあい、危険箇所を把握する。

敬老祝金

- ◇ 75 歳以上の敬老祝金は節目の人だけでよい。75、77、80、85、88 歳
- ◇ 高齢が進むことで、敬老会や敬老祝金の年齢を検討したらどうでしょうか？
⇒敬老祝金のお金を防災対策に充当する。

駐車場

- ◇ 花岡地区に大きな駐車場を設置する。

防犯灯

- ◇ 華陵高校から児童公園までの道が暗い。
⇒暗い個所のリストを作成

B グループ 7名

テーマ：魅力ある地域

児童・高齢者・地域の現状

- ◇ 子どもたちの元気なあいさつがある。
- ◇ 幼・保・小・中・高と教育関係機関が多くある。
- ◇ 地区の集まりが多い。
- ◇ 担い手が多い。
- ◇ 福祉施設と医療機関が多い。
- ◇ 旧山陽道の街沿いに歴史を見る。
- ◇ 新築の家が次々と建っている。

課題

- ◇ 子どもが運動できる施設が少ない。地域の団体の利用と施設のバランスが悪い。
- ◇ 子どもとボール遊びできるところがほしい。
- ◇ 各種ボランティアの後継者育成
- ◇ 近隣との付き合いが少ない。
- ◇ 高齢が進む中、困っている人の現状がわかりにくい。
- ◇ 新しい人と昔から住んでいる人のつながりが薄い。
- ◇ 高齢者向けの商店が減少している。
- ◇ 市在住の若者を地域への就職率を向上させる。人口増⇒発展
- ◇ 災害に強いまちづくり
- ◇ 人との助け合い

解決策・要望

- ◇ 児童・青年対策を充実させ、定住したいまちづくりに繋げる。
- ◇ 子ども会を助けて、活動を活発化させる。
- ◇ プロリーグを誘致する。
- ◇ 華陵高校を継続させる。
- ◇ 下松駅から華陵高校までの通学バスを走らせる。
- ◇ デマンドタクシー制度の確立を
- ◇ 高齢者対策を充実させる。定住したいまちづくりに繋がる。
- ◇ 住民登録者からアンケートをとる。外部からの視点がわかる。
- ◇ 地域のよいところ、有名な所を知らせる。
- ◇ アクセス道路を整備。スーパー、病院やコンビニ等日常の生活に必要なものをつなげる。
- ◇ 空き家の積極活用（不動産データとして登録。そのための協力）
- ◇ 寺社をきれいにする。
- ◇ イベントが多くある。
- ◇ 堤の位置を知らせ、その役割を理解させる。
- ◇ 農業の身近な体験をさせる。
- ◇ 外灯の整備を進める。
- ◇ 歩道と車道を分ける。
- ◇ 大型客船が停泊した時に、観光の目玉を作る。多くの観光客を増やせば町の活性化に繋がる。
- ◇ 歩道をきれいにして歩きやすくする。
- ◇ 祭を大切にするとよい。

- ◇ 山が荒れている。
- ◇ お遍路のように歩道を作る。
- ◇ 古い街並みを保存する。
- ◇ 桜の木を植えて未来へつなげる。
- ◇ 地域のいい人を探し出し、その功績を讃える。
- ◇ 児童の家の充実。柔軟な対応。
- ◇ 保育所の充実
- ◇ 夜間とか緊急用の保育所を増やす。

C グループ 6名

テーマ：地域の安全安心を

訓練・教育

- ◇ 行政と地域住民が協力して、安全安心な街をつくりあげていく。
- ◇ 災害時の対策訓練がない。役割は？
- ◇ 防災に関する映写会を行い、皆で防災について考える。
- ◇ 子どもに防災の意識を植えつける。教育する。
- ◇ 学校と一体となった防災訓練を
- ◇ 花岡地区全体の防災訓練を（避難所運営）
- ◇ 防災に関する学習館を作り、皆で運営する。
- ◇ 防災とプログラミングの合体化
⇒映写会・講習会の開催
防災館を設立

自主防災

- ◇ 公民館の周りが川なので、逃げるなら小学校？
- ◇ まだ自治会での防災組織ができていないので、整備が必要
- ◇ 自主防災会で地域、団地の親睦を図る。
- ◇ 自主防災意識の向上
- ◇ 大きな災害が起こらない災害に強い町にしたい。
- ◇ 花岡地区に自主防災組織の輪を作る。
⇒自治会単位の自主防災組織を
自主防災の横の連携を

要介護者対応

- ◇ 高齢者に対する対応の充実（声かけ）。高齢化が進む（独居老人増）
- ◇ 要介護者と連絡をとり、必要時に早目の避難誘導
- ◇ 介護施設の紹介を詳しく（費用や内容等）
- ◇ 高齢者への声かけ、見守り。児童との交流
- ◇ 自治会各班におけるコミュニケーションの充実

安全な街を

- ◇ 持ち主不明の山、林がある。
- ◇ ため池の見直しによる安全安心まちづくり
- ◇ 八幡通り、子どもに安全な通学路
- ◇ 治安の悪化（未加入自治会員の増）
- ◇ 夜道がもう少し明るいなら
- ◇ まちの中の死角、防犯カメラの設置。
- ◇ 地域の安全意識の向上
- ◇ 野犬がいない安全な地域に
- ◇ 野犬対策～エサをやる人がいる。高齢者や子どもにとって住みよいまちにしたい。

- ◇ 車が増えて、特に八幡宮の前の交差点が危ない。
- ◇ 日々における家族の会話
- ◇ 去年のがけ崩れ、通学路の被害
- ◇ 団地内をきれいに整理し、事故のない地域を

その他

- ◇ 近所の集まりを、空家を有効的に活用、あいさつの励行
- ◇ 地域でみんながあいさつし合える笑顔で過ごせる街を目指す。
- ◇ 近所との日常生活での交流
- ◇ 空き家対策～有効活用による安全な地域を
- ◇ 高い地域での侵入ハザードマップを作ろう
- ◇ 横断歩道に人が居ても車が止まってくれない。
- ◇ 子ども食堂があったらいい。
- ◇ 世代を超えて人が集まるところがない。
- ◇ 自治会集会所の充実（施設・設備）
- ◇ ブロック塀の見直しと補強

地域の輪

- ◇ 声かけの拡がり
- ◇ 交通事故の少ない安全安心なまち
- ◇ 家族における会話
- ◇ 地域の中で交流会や祭りができると、楽しく安全な街になる。
- ◇ 年配の方に任せっぱなし、次の世代の顔が見えない。
- ◇ 近所との日常生活を通じた交流
- ◇ 団地で集まるイベントづくり
- ◇ 朝の通学路、交通立哨ボランティアの確保
- ◇ 高齢者に対する会について、積極性をもって
- ◇ 児童に対しての声かけ

D グループ 8名

テーマ：地域の安心安全 魅力ある地域づくり

防災・防犯

- ◇ 土砂災害対策
- ◇ 各団体の自主防災組織の充実
- ◇ 河川の清掃、整備
- ◇ ハザードマップの活用と現実の取組みの工夫要
- ◇ 防災無線の漏れを防ぐ
- ◇ 避難施設の増設
- ◇ 自主防災組織の設立を急げ。指導の援助協力。
⇒避難所に華陵高校を指定
自分の身は自分で守る。
防災無線の活用
犯罪のないまち

コミュニケーション = 見守り

- ◇ 地域コミュニティの充実
- ◇ 老人の憩いの場を作る。
- ◇ 地区世代交流拠点
- ◇ コミュニケーション不足。隣は何をする人ぞ。
- ◇ 自治会の区割りが小さいため、相互のコミュニケーションが薄い。

- ◇ 町内会に入りたがらない。アパートは、入居時に入らなくていいと言われている。
- ◇ お互いが会話をして交流する機会を作る。
- ◇ 一日十名くらい会話をする

見守り

- ◇ 各自治会に見回りの人を作る。
- ◇ 一人暮らしの高齢者の人の見守り
- ◇ 声かけ、見守りの自覚を促す。
- ◇ 何の活動をしていない人は、何かの活動に入ってほしい。
- ◇ 向こう三軒両隣のつきあいづくり、外出づくりのつきあい
- ◇ 現役の活力活用
- ◇ 子どもから大人まであいさつ人間作り。
- ◇ 自治会班長を中心にみんなで助け合う。

健康・文化

- ◇ みんな元気よくウォーキング
- ◇ 継続的な文化発信、学芸員の常駐

生活道・通学路

- ◇ 生活道の公費負担を増やしてほしい。
- ◇ 通学路の安全対策はできているか。不良場所の窓口はどこか？
- ◇ 交通マナーの徹底

空き家

- ◇ 早急に空き家対策を考えてほしい。
- ◇ 空き家に行政がどこまで介入しているか。

環境

- ◇ 老人が出かけやすい環境づくり
- ◇ 高齢者が安心して生活できる環境づくり。住宅地が坂道が多いので、5～6年以内に買物弱者が増える。

設備

- ◇ 各所踏切の拡張
- ◇ レジャー設備の充実



末武地区

- 日 時：令和元年 11 月 6 日（水）18：30～20：25
- 会 場：末武公民館視聴覚室
- 参 加 者：28 名
- グループ：4 グループ編成

自治会を中心に、公民館で活動する地域住民の出席有

オブザーバー 下松市自治会連合会長
市議会議員 3 名
市職員 1 名
公民館長／公民館主事

A グループ 7 名

テーマ：魅力あるまちづくり／安全安心なまちづくり

コミュニティづくり

- ◇ 学校・PTA・子ども会育成会のコミュニティ融合
- ◇ 地域のコミュニティ。特に若い人をまとめる。
- ◇ 公集小の部団が消滅
- ◇ マンション住民と従来の住民との意識がかい離している。

伝統行事

- ◇ 伝統ある行事が消滅した。

地域の遊び場

- ◇ 笠戸島ハイツ跡を大規模遊園地にできないか。旅行村からローラー滑り台を設置できないか。
- ◇ 大海町東自治会に公園がない。

企業誘致

- ◇ 孫が大学に行き、卒業すると都会に就職する。下松に就職する場がない。

道路整備

- ◇ コスモス下松店から線路に沿って、道路整備が大海町橋まで完成。その後県道鹿野線まで解体工事、西開作から末武川まで？
- ◇ 末武地区の踏切が狭く、通行が狭く危険
- ◇ 大海町通りの道路いつできるか。
- ◇ 街路樹バツサリ、撤去後の路面整備を早く。
- ◇ 末武大通り線に街路樹を復活してほしい。

災害情報告知と末武公民館の信頼性

- ◇ 災害時にどこに正しく移動するのか
- ◇ 災害時の避難所が公民館では不安。
- ◇ 美里町地区の緊急避難所が公民館になっている。水位の高いところがいいのでは。
- ◇ 安心できる地区の避難所設定。現公民館用地で大丈夫か
- ◇ 地域住民の防災面での危機感の欠如
- ◇ 防災無線が聞こえない。
- ◇ 末武川、平田川の水害の映像によるシュミレーションができないか。
- ◇ 平田川の氾濫可能性のある場所がわからない。
- ◇

災害防除

- ◇ 高潮、河川の氾濫に対する護岸整備
- ◇ 平田川の草、川底の砂取り

- ◇ 竹屋川の上流、草が多いが誰がとるのか。
- ◇ 排水設備の充実

防犯

- ◇ 安全パトロール
- ◇ ボランティアの育成

高齢者支援

- ◇ 独居高齢者の買物
- ◇ 高齢者で病人、足腰が悪い方の対策をどうするのか
- ◇ 避難時の声掛けについて、誰が誰にするのか。
- ◇ 避難命令のレベル3の高齢者の避難場所は十分あるのか。

B グループ 5名

テーマ：もし台風15号と19号が下松に来たら？

災害

- ◇ 屋根が飛ばされ、通行人にあたる。
- ◇ 土砂崩れで民家が潰れる。
- ◇ 道が陥没する。
- ◇ 家屋の床上浸水が発生する。
- ◇ 溝の排水が悪く、冠水する。

平田川の氾濫

- ◇ 昨年の7/6の大雨で、松本菓子店の裏の土手は、あと50cmでオーバーフローだった。
- ◇ オーバーフローの場所は、平田東松本菓子店の裏

情報

- ◇ 防災のアナウンスが聞き取れない。
- ◇ 先日のテスト放送でも、自宅に居たが聞き取れなかった。
- ◇ 大雨、強風の情報をつかむ。
- ◇ 河川情報を把握する。
- ◇ 災害情報の確認
- ◇ 自宅周辺の災害情報を確認する。
- ◇ 自分で情報をつかむ。

避難

- ◇ 避難場所を確認する。
- ◇ 近所の人々の状況
- ◇ 町内の単身者への情報を提供する。
- ◇ 早目に避難する。
- ◇ 家族の健康状態をチェックする。

ライフライン

- ◇ 全面停電になる。
- ◇ 水道水が出ない。
- ◇ 防災セットを準備する。

災害対策

- ◇ 早急に平田橋から公集大橋の護岸を治すこと。

※溝の排水をよくする。

- ◇ 護岸工事・浚渫

C グループ 7名

テーマ：末武地区の問題点

公民館

- ◇ 高齢者も増えてきているので、公民館に住民課を作ってほしいです。
- ◇ 公民館の建て替えが遅くなる場合は、現公民館の厨房を治してほしいです。
- ◇ 出張所の復帰を望む。
- ◇ 公民館の改装を見直してほしい。
- ◇ 公民館は早く新設してください。3Fを望む。

避難

- ◇ 末武の避難所について。末武公民館の2階は狭いのではないか。下松工業高校体育館は平田地区かもしれないが、潮音町1丁目からは遠い。
- ◇ 現状では、末武公民館では避難場所にならない。
- ◇ 避難場所が川より下にある。
- ◇ 避難場所が本当に安全なのか。
- ◇ 防災無線がない。

洪水

- ◇ 平田川・竹屋川の水害対策。竹屋川の堰堤のかさ上げ
- ◇ 緊急放流した場合の被害がわからない。
- ◇ 地震より水害対策を中心に。
- ◇ 10年以上経過したハザードマップが古い。
- ◇ 少しの水で玄関に入る場所、過去の氾濫箇所を明確にする。

都市計画

- ◇ 都市計画で大海線が完成しました。公民館の北側の歩道が完成していません。早急に用地買収して、正規の歩道設置をお願いします。
- ◇ 大海線工事では、高齢者の家は大変です。住民が納得できる工事方法を工夫して推進をお願いします。

ゴミ

- ◇ ポイ捨てが多い。不法投棄が多い。
- ◇ 畑の草を燃やせないで、ごみ袋で出すのが大変です。
- ◇ アパート住民へのゴミの分別の指導を

道路・交通

- ◇ 公集小の歩道の件
- ◇ 八幡通りの件
- ◇ 大手線の朝夕の交通対策
- ◇ 交通安全。反射鏡の設置
- ◇ 平田川の下松工業高校から平田橋までの道路整備

その他

- ◇ 子ども会の減少。役員の問題でやる人がいない。
- ◇ 竹屋川上流に監視カメラ取り付けを

D グループ 9名

テーマ：安全安心

高齢者

- ◇ 高齢者に対する5,000円のばらまきをやめてほしい。金持ちも貧乏も区別がなさすぎる。生きた使い方を考えてほしい。
- ◇ 高齢者が病院に行くときに、タクシーを使っているのに、金銭面で大変。
- ◇ 高齢者は電話のみで、メールやパソコンについていけない。
- ◇ 独居（高齢者）の自然災害時の避難

- ◇ 高齢者世帯が増え、災害時の対応が難しい。(自主防災組織)

道路・交通

- ◇ 八幡通りが狭く、車がすれ違う時に危ない。
- ◇ 電柱をなくし、地下に電線を通す。
- ◇ 高齢者の交通の仕方。好きなところを渡っている。
- ◇ 高齢者に交通安全教室を
- ◇ 今年は行ってもらったが、定期的な街路樹の選定をお願いします。
- ◇ 通学路に「通学路標識」がない。
- ◇ みほり峠の所の信号が早い時間に点滅状態になり、危ない。

平田川・洪水

- ◇ 災害時の避難場所が川より低い場所である。
- ◇ 災害時の避難場所とその方法
- ◇ 避難場所の再確認
- ◇ 平田川の木が大きくなり、護岸が破壊されそう。
- ◇ 平田川の洪水、川底の草
- ◇ 平田川の清掃と堤防を高くする。
- ◇ 平田川の氾濫が想定される
- ◇ 平田川の氾濫時、どうすればいいか？平田川氾濫時の避難場所の再確認
- ◇ 災害時の商業施設の協力
- ◇ 堤防の高さが低すぎ
- ◇ 洪水発生時の車の移動先
- ◇ 洪水発生時の避難場所
- ◇ 洪水発生時の廃棄物の集積場所
- ◇ ハザードマップの更新

その他

- ◇ 高齢者・低所得者への低額バスの検討
- ◇ 各自治会で自主防災組織を作る。
- ◇ 自治会で出来ること。朝夕の立哨
- ◇ 自治会の役割が生きていない。もう少し、班の状況がわかるように把握してもらえ
るように役割を。
- ◇ 公園の砂場に、犬猫の糞が多く、なんとかならないか。
- ◇ ゴミの分別、不法投棄
- ◇ 天王台付近の野犬、子どもが怖がる。
- ◇ 家庭ごみの出し方が悪い。
- ◇ 自治体からの連絡方法
- ◇ 第二埠頭の野良犬が西市西地区まで餌を求めてくる。
- ◇ 地域の中での輪づくり
- ◇ 田の宅地造成のため、貯水ができない。
- ◇ 天王台アパートの開発時の水害対策
- ◇ 原発不要
- ◇ 市から原発必要性講習会
- ◇ 公民館に住民課を作ってほしいです。
- ◇ 公民館の建て替えが遅くなる場合は、現公民館の厨房を治してほしいです。



米川地区

- 日 時：令和元年 11 月 7 日（木）19：00～20：50
- 会 場：米川公民館視聴覚室
- 参加者：34 名
- グループ：4 グループ編成

オブザーバー 下松市自治会連合会長
市議会議員 1 名
市職員 2 名
公民館長／公民館主事

A グループ 9 名

テーマ：安心安全な地域

道路整備

- ◇ 救急車両の通行ができない。
- ◇ 救急車・消防車が通らないところの道路の拡張
- ◇ 温見から大藤谷（八代）までの道路の幅
- ◇ 道路の整備
- ◇ 道路に木が被さっている。
- ◇ 米泉湖バス道路の整備が望ましい。
- ◇ 米泉号が通れない所を拡張

限界集落対策

- ◇ 米川地域人口減
- ◇ 宅地がない。
- ◇ 空き家対策
- ◇ 簡単な仕事を手伝ってほしい。

防災

- ◇ 防災無線は役に立たず
- ◇ 防災ラジオを無料にして
- ◇ 防災マップの見直し
- ◇ 避難所のテレビ、アンテナ
- ◇ 防災組織づくり
- ◇ 避難所まで遠くて出れません。
- ◇ 災害時の情報がない。
- ◇ 携帯の利用範囲が狭い。

活用

- ◇ 農地の変更。調整地域の解除
- ◇ 残土の捨て場の利用法は？
- ◇ さる・イノシシ対策
- ◇ 休耕田が増加。管理ができない。
- ◇ 集客できる施設を

子どものために

- ◇ ランドセルが重い
- ◇ 小学校、児童館の利用方法は？

B グループ 6 名

テーマ：米川地区の課題

住環境

- ◇ 学校の跡地
- ◇ 集落排水
- ◇ 水道
- ◇ 公民館活動の拠点

少子高齢化

- ◇ 米川の行事は、これからどうなるのだろうか。
- ◇ 地域の担い手。新住民、特に若い人がほしい。
- ◇ 高齢化、高齢者の孤立化
- ◇ 空き家、廃屋
- ◇ 過疎。市の中央部は増加、周辺は薄くなっている。

道路

- ◇ 溝蓋
- ◇ 県道温見八代線の拡張
- ◇ アスファルトの補修
- ◇ 路肩の草。特に、夏期は道路が狭くなる。
- ◇ 木の枝の張り出し
- ◇ 冬期のカーブミラーの霜
- ◇ 適切なカーブミラーの設置

自然環境

- ◇ 耕作放棄地
- ◇ 鳥獣被害の増加

移動手段

- ◇ 買物難民の対策
- ◇ バスの増便
- ◇ 移動店舗の充実
- ◇ お店

C グループ 7名

テーマ：米川地域の安全と活性化について

魅力ある地域

なぜ住まないの？

- ◇ タクシー代が高い
- ◇ 米川小学校の休校で、この地域はどう変わるか？
- ◇ 酒を飲むところがない。
- ◇ 永住する人を増やすために努力しない。
- ◇ 若者が住みつかない理由を知らない。
- ◇ 自然だけでは人は住まない。
- ◇ 人口減少対策
- ◇ 若者が住みたいと思う米川
- ◇ 空き家・空き地もったいない。空き家の利用

PR 不足

- ◇ PR が下手
- ◇ 米川の PR は米泉湖だけではない。
- ◇ 自然が素晴らしい。ふるさと 100 選に選ばれた地域がある。
⇒ 広報で PR、インスタ、FB どうする？ どう PR する？ なにする？
- ◇ 若い人が住みつけるアパートを作る。
- ◇ サンリブから近いことに驚く。

- ◇ 人と人のつながりが濃い
- ◇ 米泉湖のトイレの洋式を増やして
- ◇ 自然を大切に（米泉湖やサッカー場でのマナー）
- ◇ キャンプ場を作ろう。
- ◇ 大將軍山の整備。山に登ろう。
- ◇ 住みにくいから住みやすいへ。人が集まることへの投資。

安全安心

防災

- ◇ 災害時道路が遮断された時
- ◇ 米川地域の災害対応について
- ◇ 安全安心に住めるところがない。
- ◇ 防災はどうなっているの？
- ◇ ハザードマップの徹底
- ◇ 決壊のリスクはあるが、ダムが2つある。
- ◇ 郵便局の存続
- ◇ 地域での防災訓練

鳥獣対策

- ◇ 猿、クマ、イノシシがいる。
- ◇ 米川地域の鳥獣対策
- ◇ 捕獲防除柵の補助金増額

くらし交通

- ◇ 移動販売車の件
- ◇ あったか便の充実
- ◇ 米泉号の運用。米泉号を予約なしに。A Bの地域の一体化
- ◇ 高齢者になっても車の運転をしなければならない。
- ◇ 自転車通学が難しい。
- ◇ 道路のふれあい灯を増やす。
- ◇ 公共交通機関の充実

Dグループ 11名

テーマ：米川地区の安心安全とその他の事項

防災

- ◇ 防災ラジオの電波が届かない。防災無線が聞こえない。
- ◇ 外灯が少ない

安全

- ◇ 猿、いのしし出現
- ◇ 河川内の立木の撤去。河川の中の木の伐採
- ◇ 41号線の草刈、年一回から二回にできないか。
- ◇ 休耕田をどうするか？
- ◇ 山崩れが心配。
- ◇ 河川が木や草が茂っていて、見通しが悪い。
- ◇ 空き家が増えてゴーストタウンになる。
- ◇ 交差点に草が生えて見通しの悪いところがある。
- ◇ 花と緑のまちが草と緑になっている。
- ◇ 世帯数の減少が悩み。

魅力ある街づくり

- ◇ 小学校の4月以降の管理について
- ◇ 小学校の跡地の有効活用
- ◇ 空地の利用、きのバンク
- ◇ シェアハウス方式の設置
- ◇ 大將軍山のハイキングコースの整備
- ◇ ダムの堰堤に太陽光パネル発電の設置
- ◇ ATMのある店
- ◇ 郵便局にコンビニ系の店を
- ◇ 米泉湖の水が飲めるように簡易水道を
- ◇ 簡易水道に、小水力発電
- ◇ 農業体験、道の駅

交通

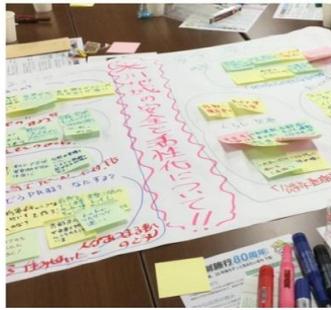
- ◇ 天気によってカーブミラーが曇って見える。
- ◇ 県道の草でカーブミラーが見えない。
- ◇ 宮の下にカーブミラー
- ◇ 須々万から下る県道、旧道の交差が危険
- ◇ 西谷線の道を整備してほしい
- ◇ 温見から大藤谷への道を整備してほしい。
- ◇ 舗装必要個所が多い。
- ◇ 山中の県道市道の交差点に点滅信号がほしい。
- ◇ 大將軍山に上る道の整備
- ◇ 交番所側の交差点に信号を
- ◇ 米泉湖周りの道路の整備
- ◇ 信号があるとよいT字路
- ◇ 県道41号線のセンターラインの明瞭化
- ◇ 味一前のT字路に点滅信号の設置を

米川の魅力

- ◇ 米泉湖周りを大いに活用する。
- ◇ 紅葉がきれい
- ◇ 滝の口公園の水遊び
- ◇ 市街地10分静かで住みよいまち
- ◇ トンネルを抜けたら、下松の軽井沢

要望

- ◇ 子どもの医療費中学生まで無料
- ◇ バスの本数を増やしてほしい。
- ◇ バスが日曜日にほしい。
- ◇ 特区として白タク登録制度の考案



中村地区

- 日 時：令和元年 11 月 8 日（金） 19：00～20：45
- 会 場：中村総合福祉センターふれあいホール
- 参 加 者：9 名
- グループ：2 グループ編成
自治会長の出席有

オブザーバー 下松市自治会連合会長
市議会議員 2 名
市職員 2 名

A グループ 4 名

テーマ：安全

住民トラブル

- ◇ アパート増加による近隣トラブル（コミュニケーション不足）
- ◇ 車の安全
- ◇ マクドナルドの交差点右折用のレーンがほしい。
- ◇ 人と人とのつながり

生活

- ◇ 犬の糞、ごみ、たばこ、コンビニの殻をそのまま捨てる。
- ◇ ゴミだしシールの徹底
- ◇ 救急車⇒病院 対応できない。（回される。時間がかかる）

安心

- ◇ 健康寿命の延伸
- ◇ 夜が暗い。
- ◇ LEDで暗くなった。
- ◇ 野犬の問題
- ◇ 公園トイレの老朽化

災害

- ◇ 電柱の強度

高齢者避難援助

地域にできること

- ◇ 大雨等の対応・独居老人への対応・誰が誰を運ぶか
- ◇ 介護予防の推進

川の増水時の対応

行政がやること

- ◇ 横川の排水対策の強化
- ◇ 末武川の浚渫を本格的に
- ◇ 末武川ダムは大丈夫か
- ◇ 避難所が遠い。
- ◇ 竹屋川の排水能力を高める。

B グループ 5 名

テーマ：自治会の問題点について

災害（市に対して）

- ◇ 避難場所の確定
- ◇ 豪雨による浸水による被害に対する改修工事

- ◇ 緊急避難場所と避難場所の違い
- ◇ 要支援者の確認と見逃さない
- ◇ 避難場所に行った人の確認、連絡

環境整備

- ◇ 道路の法面の草刈りが大変。
- ◇ 末武川の草の除去
- ◇ 敬老祝い金を節目に支給したら

見守り

- ◇ 敬老会でのもち。独居の人が多く、一人で食べられない。
- ◇ 高齢者の日々のありさまにいつも心配している。

自治会の組織

- ◇ 自治会活動に若い人の参加が少ない。
- ◇ 自治会の役員になり手がいない。毎年度自治会役員がなかなか決まらない。
- ◇ 自治会役員選出の時、無理を言われるとか、自治会を脱退するという方が増えた。
- ◇ 高齢化が進み、班長ができない。高齢者が多く、自治会の活動ができない。
- ◇ アパートが多く、自治会の人が少ない。
- ◇ 自治会の加入者が年々少なくなっている。

ゴミ問題

- ◇ アパート入居者のゴミ問題。アパートと自治会のゴミ問題
- ◇ ゴミ出しの曜日を間違える方が多い。
- ◇ ゴミの出し入れも心配の一つ

地域活動の一環である神社

- ◇ 自治会業務以外に神社の関係の業務もある。分離した方がよいのではないか。
- ◇ 神社用務に参加する人が少ない。



江の浦地区

- 日 時：令和元年 11 月 11 日（月）19：00～21：05
- 会 場：笠戸島公民館大会議室
- 参 加 者：29 名
- グループ：4 グループ編成

オブザーバー 下松市自治会連合会長
市議会議員 1 名
公民館長／公民館主事

A グループ 8 名

テーマ：地域の安全安心

交通

- ◇ 主要道路が一本
- ◇ 交通手段が少ない。バスの便が少ない。バスの便が少なく、家にも来ない。
- ◇ コミュニティバスの検討
- ◇ 高齢者になっても免許を返すことができない。
- ◇ バスの時間が少ない。

高齢化

- ◇ 敷地高低差
- ◇ 空き家が増えている。
- ◇ 若い人が少ない。
- ◇ SNS の活用
- ◇ 島外の人が住めない。

環境

- ◇ 草が伸びすぎて道が狭くなっている。
- ◇ ハイキング道が悪い。大城から旅行村までも悪い。
- ◇ 県道の草が伸びて、見通しが悪い。
- ◇ 電線にかかった木の枝。草刈り、枝払い
- ◇ 道路のゴミが最近多い。ゴミのポイ捨てが多い。
- ◇ 活性化のためどんどん人が来てほしいが、ポイ捨てが多い。

防災

- ◇ 避難場所が近くにない。
- ◇ 大城の有効活用
- ◇ これから土砂災害が多くなる。
- ◇ 台風、大雨時避難場所を明確にしてほしい。大城でよいのか？
- ◇ 民家群が多い。災害の甚大化
- ◇ 大きい災害が来た時の対応。避難。今までの感じだと高齢であったも避難しない。

野犬・イノシシ

- ◇ 野犬やイノシシが多い。大城の入口に野犬が多い。
- ◇ 多数の野犬に出会うと恐ろしい。島外より毎日餌をやりに来る人がいる。

B グループ 8 名

テーマ：人を引き付ける魅力ある地域づくり

観光整備

- ◇ 観光客の誘致
- ◇ ハイツの再活用（飲食かつ気軽にできる場所）

- ◇ 笠戸島ハイツの跡地に道の駅を作ってほしい。
- ◇ 誰とでも気兼ねなくおしゃべりできる場所があればよい。おしゃべりサロン
- ◇ 島めぐりの遊覧船
- ◇ 護岸の門を開ける。
- ◇ レストラン、民泊
- ◇ はなぐり海岸に電灯をつけてほしい。

環境整備

- ◇ 民間のタクシー活用
- ◇ バスの時間を徳山方面との連絡に合わせてほしい。

Cグループ 7名

テーマ：地域の安全安心／人々を引き付ける魅力ある地域

防災

- ◇ 自然災害がひどいので、避難場所が江の浦の公民館では危ないので、少し危ない様に思うので、どこか適当な場所を決めてほしい。
- ◇ ハザードマップの再確認を進めよう。行政も地域も
- ◇ 台風時の避難場所が明確に決められない。
- ◇ 避難のタイミングの確認方法。
- ◇ 防災対策。避難所。
- ◇ 防災無線の確認

安心

- ◇ バスの通院の不安
- ◇ 孤立しないための独居老人への対応
- ◇ 記念病院までのへバスの便が少なくなっているようなので、少し増やしてほしい。
- ◇ 運転マナーが悪い笠戸島線
- ◇ 高齢化に伴う買物難民への不安
- ◇ 人口対策

動物

- ◇ 月に一度お墓参りに行くのですが、近ごろは「イノシシ」が怖いです。
- ◇ イノシシ問題。山の手入れ
- ◇ 野良犬、猫への餌を与えないようにしたらどうですか。

海の魅力

- ◇ 近年海辺での遊びができなくなった。笠戸島の魅力が半減した。
- ◇ 島の醍醐味の海で、わかめやひじきをとることができなくなっているので、何かいい方法はないか。
- ◇ 島の作物（レモン、ピーナッツ、ニンニク）が魅力

コミュニティなど

- ◇ コンビニがあつたいいですね。
- ◇ グリーングルカフェ等コミュニティができる場所がほしい。
- ◇ 更地対策。何かにつかえないか。

Dグループ 6名

テーマ：地域の安全安心

害獣

- ◇ イノシシが人間に害を及ぼさないか心配。なんとかしてほしい。
- ◇ 野犬が増えて怖い。
- ◇ イノシシの恐怖を身近に感じる。

空き家対策

- ◇ 空き家が多くなった。
- ◇ 空き家が増えてきて、猫が多くなって、車が通りにくくなった。

災害

- ◇ 笠戸誠心会も避難場所に加えてほしい。
- ◇ 避難場所が危なくないでしょうか。
- ◇ 大雨の時、公民館が避難場所として良いのか。
- ◇ 笠戸ドックのサイレンがよく鳴るので、何事か分かりにくい。
- ◇ 防災無線がよく聞こえない。防災無線がよく聞き取れない。
- ◇ 笠戸ドックのクレーン用のサイレンが救急車のサイレント変わらないので、間違える。

交通

- ◇ バス賃をもう少し安く下げてほしい。
- ◇ ライフラインの道路が一本しかない。
- ◇ バスで買い物に行くのに、下松駅止まりだとサンリブやゆめタウンに行けない。
- ◇ 病院に行くのに、坂がきつい。

環境

- ◇ 笠戸島線の外灯が暗い。大城までは明るい。
- ◇ 歩道に草が生えていて、歩きにくい。
- ◇ 笠戸島線に草が道路まで生えてきているので、取ってほしい。
- ◇ 下水道を通してほしい。
- ◇ 海岸沿いに道路ゴミが多い。水源地にゴミが多い。
- ◇ 笠戸島の道に公衆トイレを作してほしい。簡易トイレでもいい。
- ◇ 公衆トイレがないので、不便。



本浦地区

- 日 時：令和元年 11 月 13 日（水）19：00～21：05
- 会 場：笠戸公民館大会議室
- 参加者：17 名
- グループ：2 グループ編成

オブザーバー 下松市自治会連合会長
市議会議員 1 名

A グループ 10 名

テーマ：地域の安全安心

災害避難

- ◇ 瀬戸地区の住民が一時避難所として栽培漁業センターを利用させてほしい。
- ◇ 近年の自然災害への対応として、避難方法を確立

野犬・いのしし

- ◇ 野犬が多いので、けが人が出ないうちに、どうにかしてほしい。
- ◇ 最近、野犬、野良猫が増え、対策をとらないと老人や子どもは危険な目にあう。
- ◇ イノシシによる道の破壊・イノシシをどうにかしてほしい。

バス停関係

- ◇ 本浦バス停まで老人が歩いていくには距離があるので、消防機庫までバスが入るようにしてほしい。
- ◇ 高齢者の方が多いので、乗物が不安である。バス停も遠くだし。
- ◇ 瀬戸バス停と池尻バス停を廃止して、栽培漁業センター入口にバス停を作ってもらいたい。瀬戸住民も平坦な所を歩いた方がよい。
- ◇ バス以外の交通手段を考えたら、例えばコミュニティバスなど。

安全な町を

- ◇ 高齢化・人口減少による地域の保全
- ◇ 空き家が多く、瓦の落下や倒壊による事故が心配。
- ◇ 防災無線は、本浦は聞こえるが、尾泊、瀬戸は聞こえない。対策をお願いしたい。
- ◇ 高齢者・一人くらの安否確認
- ◇ 市の防災無線、セミナーハウスや尾泊地区から流せたらいい。
- ◇ 本浦の河川が平成 30 年 7 月豪雨で溢れそうになった。市の方に現状を見てもらったが、対策が必要。
- ◇ 笠戸島ハイツの前の県道の山崩れ、再度大雨の場合通行止めになる。
- ◇ 防犯灯の周りの木を切る。
- ◇ 県道沿いの標識周りの木の枝の伐採。

その他

- ◇ 県道の破損（海岸、橋の所）
- ◇ 橋のひび割れ
- ◇ 県道の東川の海部分が崩れて、車が通行するのに危険である。
- ◇ 近所で助け合いコミュニティ関係を作る。

B グループ 7 名

テーマ：安全安心／まちづくり

安心安全

- ◇ 自助・共助・公助。公助ばかりに頼ってはならない。
- ◇ 災害時、市ができることは限られている。
- ◇ 日頃からハザードマップを確認しておく。

- ◇ 県道のゴミの散乱
- ◇ 空き家の件、雑草が多い。
- ◇ 自分は大丈夫という先入観がある。
- ◇ 自分の命は自分で守る。

町づくり

- ◇ バス停を近くにしてほしい。バス停が遠い。
- ◇ バス停が遠いので、消防機庫まで入ってほしい。
- ◇ 地域担当職員制度の活用。市と地域が問題を共有する。
- ◇ 県道の破損個所の修復を行ってほしい。
- ◇ 池の尻のバス停が危険のため、位置を移動することを提案する。
- ◇ 東地区の外灯を設置
- ◇ 道のへりをきれいに。草を刈ってもらわないと。ゴミを車から捨てる人が多い。
- ◇ お祭り等イベントを行う。
- ◇ 子どもが自転車で通行するのに危ないので、池の尻の草刈りをしてもらいたい。
- ◇ バスの件で、記念病院までと帰りの時間を考えてもらえたら。
- ◇ 市街化調整区域がリスクとなっているのでは。

その他

- ◇ 一人暮らしの人の安否確認
- ◇ 笠戸公民館、笠戸島公民館、「島」が付くかつかないかの違いでは、わかりにくい。
- ◇ 魚釣り客がよくゴミを捨てて帰る。
- ◇ 空き家が増加。
- ◇

野犬、イノシシ

- ◇ 野猿、野犬の件。
- ◇ 老夫婦世帯の増加
- ◇ 野犬と猫に餌をやらない。



深浦地区

- 日 時：令和元年 11 月 14 日（木）19：00～20：50
- 会 場：深浦公民館サロン室
- 参加者：22 名
- グループ：グループ編成

オブザーバー 下松市自治会連合会長
市議会議員 1 名
光市職員 3 名

A グループ 6 名

テーマ：魅力・安全・安心

魅力

- ◇ 深浦の歴史
- ◇ 人情の厚さ
- ◇ 夕焼け
- ◇ 笠戸島ハイツの再開発
- ◇ 深浦 PR 強化
- ◇ 補助事業の詳細説明
- ◇ 食糧
- ◇ 山歩き

体育館

- ◇ 体育館が早期使用できるように。体育館の再使用
- ◇ 旧中学校体育館早期使用可に。体育館の使用（耐震工事の件）
- ◇ 運動施設のキープ

安心 交通・設備

- ◇ 免許返納後の買物難民への対応
- ◇ バスの運行を継続的に
- ◇ 県道の改善。県道の草。県道の樹木の剪定。県道の街路灯の点灯
- ◇ 介護事業の拡大
- ◇ 側溝の改善

安全 防犯

- ◇ 地区に若者がいない。
- ◇ 空き家対策。空き家の利用
- ◇ 人が減っている。田畑が減っている
- ◇ 地元消防団 地域全員の団結
- ◇ 交通インフラ整備の継続

災害時

- ◇ ハザードマップによる危険度の確認
- ◇ 避難訓練に参加者が増える対応
- ◇ 避難場所
- ◇ 港の整備（人を運ぶ）

安全安心

- ◇ イノシシ対策 人的被害が心配
- ◇ イノシシで耕作を諦める人がいる
- ◇ 野犬

B ループ 5 名

テーマ：深浦地区の要望

体育館

- ◇ 体育館修理

イノシシ

- ◇ イノシシ害。イノシシ捕獲。イノシシのわな
- ◇ 防除柵の補助金は

防災

- ◇ 大雨による山よりのごみ対策
- ◇ 海岸の高潮対策について
- ◇ 台風と災害の対策はどうなのか。
- ◇ 空き家対策
- ◇ 高潮で溝を上げる。
- ◇ 防潮壁

交通

- ◇ 交通費の問題。バス代が高い。
- ◇ 家の前まで車が通る道
- ◇ 交通対策

道路

- ◇ 生活道路が狭い。
- ◇ 県道の垂れ下がった木。県道の木の対策について
- ◇ 溝水漏れ
- ◇ 農道整備

C グループ 6名

テーマ：深浦地区の課題

バス

- ◇ コミュニティバスを考えてほしい。
- ◇ バス便について
- ◇ 割引に差を付けてほしい
- ◇ 駅までの便が多く、記念病院まで行く便がほしい。
- ◇ 玉鶴の車の使用について
- ◇ 運賃が高い
- ◇ 買物用の便がほしい。

体育館

- ◇ 体育館の使用について、運動ができるように。
- ◇ 高齢者が集う場がほしい。
- ◇ 体育館はどうしようと思っているのでしょうか。

イノシシ等

- ◇ イノシシが昼に出る。イノシシ対策。畑を荒らす。イノシシが家の横を歩いている。

道路

- ◇ 道路がだんだん狭くなっている。路肩の草をこさいでほしい。
- ◇ 道路の整備。樹木の伐採観光客を呼び込むために整備することは
- ◇ 笠戸島一周道路
- ◇ 笠戸島線の樹木を整備してほしい。

笠戸島ハイツ

- ◇ ハイツの利用方法
- ◇ ハイツを「道の駅」にするのは？
- ◇ ハイツを早くどうかしてほしい。

防災

- ◇ 防災のサイレンについて。防災サイレンが聞こえにくい
- ◇ 防災アナウンスが聞こえない

空き家対策

D グループ 5名

テーマ：深浦地区の課題

バス

- ◇ アンケートの答えがなかった。バスのアンケート答えなし
- ◇ 防長バスの代金
- ◇ バスによっては、下松駅止まりがあるので、歩いて市役所に行くのが遠い。
- ◇ コミュニティバスを運行してほしい。

道路

- ◇ 車に乗る人はお互いにルールを守ること
- ◇ 県道で車同士の確認を
- ◇ カーブが多いため、見通しが悪いカーブの所の木を切してほしい。
- ◇ 道路の木立が気になる。
- ◇ カーブミラーの点検。車に乗っていると、カーブで出合危ない場合がある。

地区の問題点

- ◇ 高齢化に伴い人口減
- ◇ 自治会や八幡宮の行事ができなくなる。
- ◇ 空き家が多い。
- ◇ 住民同士の繋がりを大切に
- ◇ 班の共同利用の溝の整備を

その他

- ◇ たばこ税の活用、市の施設に喫煙所を作ってほしい。
- ◇ 地域のイノシシ対策
- ◇ 犬の糞が至る所にある。



豊井地区

- 日 時：令和元年 11 月 18 日（月） 19：00～20：55
- 会 場：豊井公民館視聴覚室
- 参 加 者：27 名
- グループ：グループ編成 4

オブザーバー 下松市自治会連合会長
市議会議員 3 名
市職員 2 名
公民館長／公民館主事

A グループ 6 名

テーマ：豊井地域の課題

防災

- ◇ 300 年～400 年前の瓢箪池の安全評価について
- ◇ 地域で守っている大谷ダムの安全安心について
- ◇ 大谷ダム、大谷川と区画整理の関係。大谷ダムと大谷川の安全評価ができないと区画整理がなりたたない。
- ◇ 防災無線がよく聞こえない。
- ◇ 大谷ダムの安全安心。大谷ダム公園として、いこいの場として活用する。ハイキングコースも整備する。
- ◇ 半上公園の樹木の伐採。回りが暗いため、安全上よくない。
- ◇ 豊井地区の排水の改善はできないか。
- ◇ 上関原発と下松市の関係。下松市の立場は賛成か反対か。

区画整理

- ◇ 豊井地区の空家問題と道路整備
- ◇ 豊井地区の人口を増やすためには？若い人を呼び込むも、土地はない。大きな団地を造る。
- ◇ 区画整理事業を見直し案にした理由と委員会に恋ヶ浜の委員が入っていないのはなぜか。また続きはいつになるのか。
- ◇ 中豊井地区において、道幅が狭く、空き家が目立つ。
- ◇ 朝夕の交通ラッシュ問題。
- ◇ 区画整理事業を専門家のデザイナーに設計を依頼したらどうか。
- ◇ 市保存樹木の看板設置

環境衛生

- ◇ 半上公園のトイレ更新
- ◇ 船たまり仮置きトイレの設置について
- ◇ 洲鼻船泊に公衆トイレ
- ◇ 洲鼻地区で、通行車両からのポイ捨てが多い。
- ◇ 洲鼻自治会館の修理について
- ◇ 国道、県道沿いに雑草が目立つ
- ◇ 近所騒音、犬猫の取り締まりはどこがするのか。
- ◇ 高齢者が多い。豊井にスーパーがない。スーパーの誘致。

B グループ 6 名

テーマ：安全安心

店・施設

- ◇ バス停がない。商店が少ない。駐車場がない。
- ◇ 福祉関連
- ◇ 町なみについて。車が乗り入れられない。救急時に車両が付けられない。警察、消防が動くときに障害となっている。駐車場なく、路駐が多い。

人

- ◇ 若者定住化・少子高齢化
- ◇ 教育問題

水

- ◇ 水害対策。貯水池を造ってもらったが、40mm以上の雨が降ると床上、床下浸水になる。
- ◇ 水害について、川底を深くしたら。
- ◇ 上水道管のインフラ整備。下水道があるとよい。

道路

- ◇ 道路の側溝がガタガタ音がして、うるさい。
- ◇ 朝晩日立製作所の通勤車両で大変混雑している。
- ◇ 交通安全について、信号機が少ない。夜の外灯が少ない。歩道がない。歩道が荒れている。
- ◇ 会社勤めの人が側溝を自転車で夜帰宅されるとき、がたがた大きな音がするので、目が覚める。
- ◇ 防火対策の点で、道路がない。
- ◇ 歩道の不便さ（車いす）
- ◇ 道路が狭い。道が狭いため、汲み取りに難儀しています。
- ◇ 車道の立体交差は？

その他

- ◇ 第一次産業の衰退
- ◇ 耕作放棄地の取扱い
- ◇ 野良犬

C グループ 8名

テーマ：豊井地区の課題

大谷ダムの安全安心

- ◇ 台風、災害時の避難場所は、豊井小学校の上手とする。
- ◇ 大谷ダムの防災と観光的な活用
- ◇ 大谷ダムは大丈夫か？大谷ダムの観光地化は可能か？
- ◇ 大谷ダムの管理
- ◇ 大谷川の水害対策

交通対策

- ◇ 交通難民～車がなければ買物に行けない。
- ◇ 道路整備
- ◇ 豊井・光間の道路づくり
- ◇ 交通渋滞の解消（中央線）
- ◇ 恋が浜地区の道路の整備及び通学路を新しくする。
- ◇ 店がない。買物をしやすい街に。豊井地区に商店がない。

住みやすい街

- ◇ 下水道を作る。下水道の整備。
- ◇ 交通渋滞の解消について、豊井の中央線を思う。
- ◇ 線路の下は、土石を取り除いていないので、砂がたまっている。

- ◇ 下松市全般、3m以下の地盤が多くあるが、災害が発生したら、下松市全般が2m浸かるが、どのように考えているか。
- ◇ 恋が浜地区の下水道整備をしてもらおう。
- ◇ 区画整理をしっかりとやる。
- ◇ 2世帯住宅がしやすい街づくり
- ◇ 住みたい街にする。
- ◇ 外灯の多い街に。

子どもを育てやすい町

- ◇ 豊井地区の子どもの減少対策
- ◇ 若者の就職、働く場所がない。
- ◇ 住みよさランキング22位。よさの理由が知りたい。
- ◇ 遊べるまちづくり

環境

- ◇ 災害発生時の避難場所
- ◇ 恋が浜地区は、豊井小学校に避難できない場合は、車を出してもらおう。
- ◇ 下松市の災害はどのように考えているか。2m水が浸かる。
- ◇ 大谷川の上流で野犬が時々見かけられる。日立の駐車場でも見かける。どうしたらよいか。
- ◇ 市民の要望に対応できる財源は？
- ◇ イノシシが家の方に出る。
- ◇ イノシシを駆除するのは、どうなっているのか。
- ◇ 災害が発生しているが、現状復帰ではまた同じ災害が発生する。
- ◇ 都市計画税を長年納めているが、豊井地区においては反映されていない。
- ◇ 小学生の通学路について、ボランティアの方がいるが、車両もスピードを落とすこと。
- ◇ 神社を大切に。
- ◇ 豊井地区でも防犯カメラ設置を。
- ◇ 大谷墓地の野犬対策

D グループ 6名

テーマ：豊井地区の課題

自治会の課題

- ◇ ゴミ出し曜日違いの処理
- ◇ 自治会の班の再編成
- ◇ 自治会老人化
- ◇ 市自治会連合会への交付金を200万円から2000万円へ

豊井地区整備

- ◇ 道づくりの件、地元の要望は。
- ◇ 豊井・恋が浜インフラ整備は
- ◇ 豊井地区、一日も早い整備の着工
- ◇ 大谷川の排水量アップ

バスの件

- ◇ 琴平町にバス停を
- ◇ 買物難民

交番

- ◇ 駅から東へ交番なし。

コミュニティの件

- ◇ 日中歩いている人に出会わないので、話し合うことがない。

防災

- ◇ 防災資材について、ドラム缶を自治会で準備したらどうか。
- ◇ 伊方原発で事故が起こった場合、下松はどうなるのか。

野犬

- ◇ 大谷第二墓地の野犬



● 「井戸端会議」で協議された地域課題に対する 地区自治会連合会との協議

12会場の「市長と地域の井戸端会議」のグループワークで話し合われた内容について、地区自治会連合会長と分析を行い、地区の重要な課題について整理を行いました。その課題について、市の考え方や地区自治会連合会が取り組んだこと等をまとめました。

なお、中村地区、米川地区、東陽地区については、地区の課題等は「市内全般にわたる課題」と重複しております。

日にち	時間	会場	地区自治会連合会
令和2年 2月3日(月)	10:00～12:00	下松市役所	久保地区
	13:30～14:30	下松市役所	中央地区/北地区
	15:00～15:50	下松市役所	東陽地区
2月4日(火)	10:00～11:00	花岡公民館	花岡地区
	13:30～14:30	下松市役所	西地区/旗岡地区/南地区
	15:00～16:00	下松市役所	中村地区
2月5日(水)	10:00～11:00	会長宅	笠戸島地区
	13:30～15:00	末武公民館	末武地区
2月12日(水)	10:00～11:00	豊井公民館	豊井地区
2月20日(木)	14:00～15:00	下松市役所	米川地区

【下松西地区】(西地区自治会連合会の取組事例)

◎移動一日販売車の稼働・「高齢者対策としての移動販売促進」

下松西地区では、「市長と地域の井戸端会議」の開催直後11月から、西地区自治会連合会が中心となって、販売の見学会が実施され、事業者との間で「移動販売」について協議が行われました。その結果、毎週月曜日の午前11時に出店が決定し、稼働が開始しました。買物を通じて、高齢者同士が近所に声かけをするので、安否確認に繋がる等高齢者の間では、高い評価を受けております。

【旗岡地区】(旗岡地区自治会連合会の取組事例)

◎集会所の有効活用・行事の活発化

旗岡地区では、自治会・民生委員・シニアクラブ・子ども会育成会等の地域のコミュニティ団体によって旗岡地区協議会が組織化されています。三世代交流や近所のふれあい、助け合い、あいさつ運動を実施し、旗岡地区の地域づくりが進められています。

現在、旗岡地区協議会は、旗岡第2集会所の管理運営を行っており、これから建設される旗岡第1集会所についても管理運営を行うことになっております。集会所を通じた自主的な地域の拠点づくりが進められています。

【下松中央地区・北地区】【久保地区】【末武地区】

◎河川の危険個所の把握と改善

国・県への河川改修整備要望について

水防管理者としては水害時、河川パトロール、また、第一の窓口として住民通報を受け、現地確認及び河川管理者（県）への連絡等を行っており、併せてこれらの情報を取りまとめ、危険個所の把握に努めております。また、近年の豪雨災害を受け、水防管理者と河川管理者の間で減災対策についての連携を強化する取組も始まったところであり、現在は、河川管理者が把握した情報を水防管理者へ報告することが徹底されております。

本市といたしましては、溢水履歴や護岸老朽化等の緊急性を踏まえつつ、護岸改修や浚渫等を強く要請しており、県においては財源的な制約もある中、計画的な対策に尽力いただいております。

【久保地区】【笠戸島地区】

◎市街化調整区域について

市街化調整区域と市街化区域の区分は、都市の無秩序な拡大を抑制し、計画的な市街地化を図り、農林漁業と調和しながら、公共投資の効率化と都市の健全な発展を図ることを目的に定められております。

市街化調整区域については、新たな市街地化を抑制すべき区域として建築等の制限がありますが、分家住宅や農家住宅、日用品販売等の小売店舗など一定の要件を満たしたものについては、開発や建築行為が認められていることから、既存集落の維持、保全についての現況区分で可能と判断しております。また、下松市都市計画マスタープランにおいても、原則として市街化区域の拡大は行わないこととしていることから、現在は区分の見直しについて考えておりません。

しかしながら、結果的に市街化調整区域の人口が減少していることは事実でありますので、UJIタウンや空き家等を活用した地域振興について検討してまいります。

なお、先の開発や建築行為の可否は、個別の案件に応じて行われ、具体的に条件を提示し、許可権者である県に判断を仰ぐ必要があるため、まずは、市都市整備課までお問い合わせください。

【花岡地区】

◎花岡八幡通りの交通渋滞解消と安全対策について

市道西条線との交差点以南につきましては、これまでも多くの改良要望をいただいております。令和2年度には、花岡八幡通り交差点改良設計を実施し、拡幅及び交差点改良事業の検討を進めてまいりたいと考えております。

【末武地区】

◎市道大手線の末武公民館から公集小学校北側の道路未拡幅改良部分の早期整備について

大手線の一部区間の歩道につきましては、今日まで地権者様との合意が得られず、歩道を狭めて暫定的な供用を行っております。引き続き、交渉を行い、用地取得を目指してまいります。

【末武地区】

◎市道大海線の今後の工事内容について

都市計画道路大海線につきましては、現在、市道平田昭和通りから県道下松鹿野線までの区間について、令和4年度の開通を目指し、道路新設事業を鋭意進めているところです。

県道下松鹿野線以西は、近年民間開発により、宅地化が進み、交通需要の増大が見込まれる優先すべき路線の一つとして認識しておりますが、他にも未整備の都市計画道路が残っていることから、必要性、事業効果等を踏まえつつ次の整備路線を決定したいと考えており、現段階では県道以西の事業着手時期は決まっておりません。

【末武地区】

◎末武公民館の改築について

末武公民館の改築につきましては、公民館整備計画に基づき、末武地区住民の方々と具体的な協議を進めてまいります。

【笠戸島（本浦）地区】

◎笠戸島内バス停位置変更について

バスの停留所については、運行事業者が国や道路管理者に対して申請を行うことで、設置や廃止が可能なものとなっております。県道笠戸島線から本浦への入口にあたる「池の尻」バス停につきましては、市から運行事業者に対して、利用の有無を確認した上で停留所の廃止を検討していただくよう申入れを行っております。また、「栽培漁業センターの県道入口」への移設につきましては、事業者に対して打診したいと考えておりますが、当該場所が緩やかなカーブの途中であり、原則、上り下り共に停留所が必要なことから、道路管理者である山口県や運行許可をする国から許可がおりない可能性もあります。

【笠戸島（深浦）地区】

◎深浦公民館体育館の改修について

平成30年9月から公民館の体育館利用を中止しております。現在、教育委員会と

建設部住宅建築課が協議中ですが、外壁の改修だけで相当な費用が必要な上耐震等その他の工事も必要となるため、改修は困難であると考えております。地元からの要望は、体操や卓球ができるスペースが必要であるということであり、代替案を検討しており、引き続き、地元と協議を進めてまいります。

【笠戸島地区】

◎県道笠戸島線の街路灯の点灯について

県道笠戸島線の一部区間においては、観光施策により市が所有・管理する街路灯が設置されております。現在、維持管理コストや環境負荷に配慮し、常時は道路管理上必要な箇所みの点灯、イベント等に際しては臨時的に全面点灯する運用としております。

【笠戸島地区】

◎笠戸島ハイツの閉館後の有効活用について

笠戸島ハイツの利活用につきましては、建物を解体・除却し、更地とすることを前提に活用方針案を決定し、既存施設を活用することも可能とした上で、民設民営による事業者を募集する準備を進めているところであり、民間活力を活用した笠戸島ハイツの再生を目指します。

【笠戸島地区】

◎県道笠戸島線の樹木の伐採について

【山口県からの回答】

年1回、県道笠戸島線において、明らかに交通上支障になる枝木の伐採を実施しています。樹木の枝が垂れ下がるなど、交通障害が度々生じていることは承知しておりますが、当該路線は山（大部分は国有林）に囲まれているため、広範囲に伐採することは困難と考えています。これら交通障害が発生した箇所につきましては、道路パトロールや利用者の方々の通報により、随時対応しているところです。

【豊井地区】

◎豊井地区まちづくりの計画的な推進について

豊井地区のまちづくりにつきましては、「豊井区画整理見直し協議会」において、地元の代表者の方々と新たな「豊井地区まちづくり整備計画」策定についての協議を行っており、令和元年7月には、市建設部に「豊井地区市街地整備準備室」を設置し、早期の事業化に向け鋭意作業を進めているところです。

今後も地元との合意形成を図りながら、豊井地区のまちづくりを計画的に進めてまいります。

◎大谷川・大谷ダムの安全安心について

大谷川における治水対策は非常に重要な課題と認識しており、現在、大谷川排水区の雨水計画見直しを実施しているところです。大谷ダムにつきましては、ダムの治水機能や他の施設整備に対する優位性を検証した上で慎重に今後の活用の可否を判断していく必要がありますが、現時点では行政への管理移管は考えておりません。

現在の管理については、所有者である㈱日立製作所が安全性三次調査（平成20年度実施）での「ダム全体の所要の品質は確保されている」との診断を経て3か月ごとの定期及び有事（地震、大雨時）における目視点検を実施し、安全性の確保に努めておられます。また、前回調査から10年経過していることから、専門業者による安全性調査や新たなリスク管理面から調査の実施について検討したいとの意向を受けております。

なお、浸水対策として、令和2年度に大谷川において浚渫用のピットを設置します。

令和元年12月3日付、豊井自治会連合会宛

「大谷ダムの安全・安心に関する要望書」への回答（抜粋）

●「井戸端会議」における 市内全域にわたる課題の整理について

「市長と地域の井戸端会議」の会場の中で、特に多かったご意見として、災害対応、野犬対策、有害鳥獣対策、道路整備、買い物支援が挙げられます。これらの課題は、グループワークの中で自由に意見を出し合い、各グループの発表によって地域課題として共有化されました。「井戸端会議」を通して、改めて浮き彫りになったもので、市内全般にわたる課題です。この課題に対する市の考え方を整理しました。

◎大規模化する災害対応について

<ハザードマップの更新>

現在の洪水ハザードマップは作成以来、かなり年数が経過しております。県が調査を実施している想定最大規模降雨による切戸川、平田川、末武川の浸水想定区域の指定、公表に基づき、その調査結果を踏まえ、できるだけ早期に、洪水ハザードマップの更新を行うこととしております。

<防災ラジオ整備事業>

災害など緊急時の情報伝達手段の一つとして、防災行政無線の屋外スピーカーの音声は地理的な条件や気象状況により聞こえにくい場所でも、屋内で緊急情報を受信できる防災ラジオを配付しています。令和元年度は、申し込みのあった方に対して621台を計画配付したところです。現在、米川地区で電波が入りづらいという意見をいただいておりますが、受信するための対策を検討しております。

数多くの方々に避難情報を入手していただくために、今後も防災ラジオの配付を

継続して実施していく予定であり、特に要配慮者への重点的な配付を検討しております。

<防災の情報環境・情報入手のための準備>

防災行政無線をはじめ、防災メールの登録、防災ラジオによって市からの情報を入手することができます。また、停電でない場合は、テレビの「d」ボタンで災害情報を入手できます。また、災害から身を守るためには、災害への心構えが大切であり、地域がどのような災害に弱いのかをハザードマップ等で知るとともに、情報の入手手段の確保や避難経路の確認など、災害時には早めの避難行動をお願いいたします。

情報収集及び発信の対応につきましては、防災行政無線の補完機能を持つ防災ラジオの普及啓発に努めるなど、特に災害弱者に重点を置いた防災対策を進めることで、さらなる安全・安心の確保、充実につなげてまいりたいと考えております。

<災害弱者対応>

福祉避難所の協定締結法人と連携し、福祉避難所設置・運営の訓練を実施する等、要配慮者が安心して避難生活を送るための体制整備を図ります。また、避難行動要支援者避難支援策として、災害時に避難行動要支援者が円滑に避難できるよう、自主防災組織や民生委員などの地域の支援者との間で必要な情報の共有を進めるとともに、避難支援の訓練を実施してまいります。

また、聴覚・言語機能障害者が円滑に緊急通報を行うために、令和2年度に「NET119緊急通報システム」の導入を予定しており、災害時等における情報伝達手段の充実に努めてまいります。

◎野犬対策について

野犬の捕獲につきましては、自治会への捕獲檻の貸出し等に加え、周南環境保健所と協働で捕獲業務にあたっております。現在、野犬が市内各地に出没していますが、野犬の定着や繁殖を助長する、むやみな餌やりが原因の一つと捉えており、その対策として、職員によるパトロールの実施、広報やホームページを活用したマナーアップの周知啓発等に取り組んでいるところです。

野犬のいない、安全安心なまちを目指し、今後も引き続き、マナーアップの啓発に努めるとともに、周南環境保健所との連携を一層強化し、野犬対策に取り組んでまいります。

◎有害鳥獣対策について

有害鳥獣による農業被害は、営農意欲を減退させ、荒廃農地の増加につながるな

ど、極めて重要な課題であり、最近では、市街地においても被害が発生しております。このように、鳥獣被害が深刻化する背景には、農村地域の過疎化、農家の高齢化や鳥獣の生息域の拡大などいくつかの要因が考えられます。

本市では、鳥獣による被害を防止するため、猟友会と市による「下松市鳥獣被害対策実施隊」を設置しており、住民からの情報提供や依頼により、効果的な捕獲方法を検討し、捕獲檻の増設やわな、銃器による捕獲活動を実施しております。

今後も、地域の皆様と問題意識を共有し、地域と行政が一体となった体制づくりや防除柵の設置や鳥獣被害対策実施隊の捕獲活動を支援すると共に猟友会員の担い手育成の助成を行ってまいります。

◎市内各地の草刈りについて

現在、市道延長は約 300 kmにも及び、路肩、法面等を含めると管理区域は広大な面積となることから、環境美化のために市がその全区域において草刈りや雑木の伐採剪定を行うことは実質的に困難であり、大部分については、地域の皆様のボランティア清掃活動によりご協力いただいているところであります。

一方、地域での実施が困難な箇所につきましては、市が通行等の機能を確保する範囲において対応する取り扱いとしております。近年、高齢化や作業安全上の問題から地域での継続が困難となる、宅地造成等環境の変化に起因して新たな維持管理箇所が発生する等による同様の要望が増加しており、限られた財源の中、対応に苦慮しているところであります。現地の状況も踏まえつつ対応を検討してまいります。

◎路面標示の整備について

市道の区画線や注意喚起標示につきましては、道路管理者である下松市において毎年度交通安全施設整備費を予算計上し、消耗の激しいものから更新するよう努めております。

一方、一旦停止・止まれ・横断歩道等規制標示については、交通管理者である県公安委員会（下松警察署）の所管となりますので、本市から進達し、以下の通り回答いただいております。

不具合箇所については、現場確認の上対応を検討いたしますので、下松警察署までご連絡をお願いいたします。しかしながら、山口県内の各警察署から同様の要望があるため、対応に期間を要している状況です。

◎歩道の整備について

歩道の整備につきましては、歩行者の安全対策として、本年度も中央線におけ

る歩道改良をはじめ、路肩改良や水路蓋掛け、舗装改良などの事業を実施し、また、通学路を中心とした外側線設置や路面カラー化による交通安全対策を継続するなど、重要課題として取り組んでいるところであります。

令和2年度は、住民・学校等から要望の多い通学路等の防草対策を強化する等歩行者の安全性を確保する対策について、引き続き検討してまいります。

◎防犯・交通安全対策について

地域防犯ボランティアの加入促進と育成に努めるとともに、令和2年度から新たに市内事業者から防犯パトロール活動への協力を得ることによって、安全安心な地域社会づくりを推進いたします。また、交通安全対策では、様々な機会を活用し、交通安全教育及び啓発活動に取り組みます。

◎公園のトイレの洋式化について

現在、市が維持管理を行っている公園の屋外トイレは40公園46棟あり、地域防災計画において広域避難場所に指定している公園からトイレの洋式化に取り組んでおり、令和元年度は、下松スポーツ公園グラウンドのトイレを実施いたします。

その他の公園のトイレにつきましては、老朽化しているトイレも見られ、令和2年度に予定している健全度調査の結果や公園の避難所としての位置付け、利用状況を踏まえ、廃止も含めて、そのあり方について検討してまいります。

◎河川氾濫防止のための治水対策について

治水対策につきましては、山口県に対して二級河川の整備を強く要請し、現在、切戸川、玉鶴川等において計画に基づく護岸改修等を実施いただいております。

また、その他の河川については、本市において毎年度予算を確保し、過去に水があふれた箇所の履歴や護岸状況等の緊急性を踏まえつつ、継続的に改修を実施しているところであります。各地で河川氾濫による被害が頻発する中、平成30年7月豪雨では、本市におきましても2級河川切戸川や準用河川小野川等で、複数箇所水があふれ、護岸崩壊の被害が発生し、河川整備の重要性が一層高まっていると認識しております。

今後も引き続き、川底の土砂を取り除き、堰（せき）の操作等の維持管理を適切に行いつつ、河川整備の促進に尽力してまいりたいと考えております。

◎公共交通不便地域での移動の利便性向上について

本市での公共交通に関する具体的な施策については、平成29年6月策定の「下松市地域公共交通網形成計画」に基づき、公共交通事業者や学識経験者などで構成される「下松市地域公共交通活性化協議会」における協議の中で、様々な視点から検討し、鋭意取り組んでおります。

笠戸島地区や久保地区等の公共交通不便地域でのコミュニティバス等の運行につきましては、米川地区と同様に高齢化が進む地区にとっては喫緊の重要な課題であると認識しており、持続可能な公共交通のあり方を調査・研究してまいります。

●「市長と地域の井戸端会議」を生かした今後の目標設定

魅力あるまちを築くためには、地域の特性や実情を活かしたまちづくりや、地域をよく知り、地域に愛着を持つ地域住民によるまちづくりが求められます。

そのためには、地域と行政が互いの特性を踏まえた上で協力、連携し合うことが大切です。自助・共助・公助によって、市民力、地域力、民間力を結集し、「オールくだまつ」による協働のしくみの中で、地域課題の解決に取り組むことが必要です。

その方策

- 市が対応すること、地域の総合力で解決できること、市と地域や企業等民間団体と協働すること、国・県・他市と連携し取り組むことを明確にし、課題解決に向けて取り組む。
- 市や自治会連合会は、地域住民が自発的に地域をよりよくするため、自治会活動やコミュニティ活動等に対する理解を深める機会をつくる。
- 市自治会連合会は、まちづくりの中核的な組織として、生活環境、社会福祉、青少年健全育成、交通安全、防災・防犯等他のまちづくり団体と積極的なネットワークづくりを進める。
- 地区自治会連合会を中心として、地域のコミュニティ団体が連携して、地域の総合力を醸成する。
- 市職員が市民や地域との協働を通じて、新たな発想を得る。また、市民協働により、市民ニーズを行政施策に取り入れる機会をつくり、行政の事業のあり方等の見直しに繋げる。